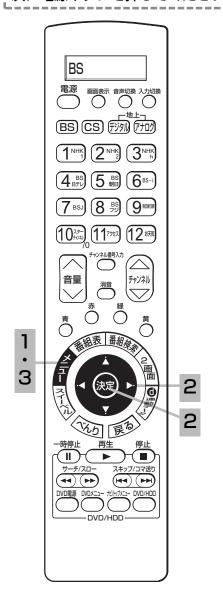
受信できるように設定する

メニュー機能の使いかた

メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使って、ほとんどの機能の設定ができます。メニュー階層については（②操作編 106）をご覧ください。

準　備

本体の主電源スイッチを押してください。スタンバイ / 受像ランプが赤に点灯します。
次に電源ボタンを押してください。スタンバイ / 受像ランプが緑色に点灯し、本機の電源が入ります。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

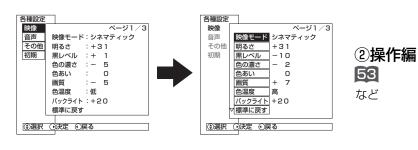
2 で項目を選び、または決定ボタンを押す

「各種設定」について

「各種設定」を選ぶと「映像」や「音声」、受信設定などの設定画面を表示することができます。

明るさなどの映像を調節したいときは

で「映像」を選び、または決定ボタンを押す

②操作編 53 など

● 「バックライト」は、液晶テレビの場合のみ表示されます。

メ　モ

リモコンの戻るボタンについて

メニューやべんり機能 8 の設定画面のとき戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

参照ページマークについて

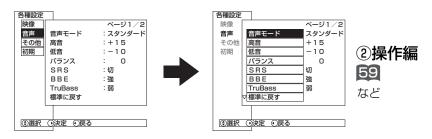
マークは、「① 準備編」の取扱説明書（本書）の参照ページを表しています。

マークは、「② 操作編」の取扱説明書（別冊）の参照ページを表しています。

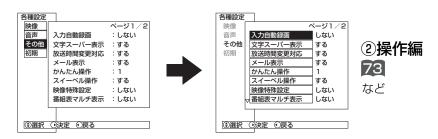
2

高音などの音声を調節したいときは

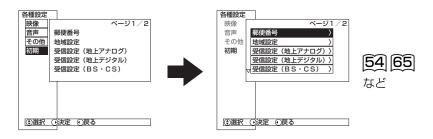
で「音声」を選び、または決定ボタンを押す

②操作編 59 など

かんたん操作などを設定したいときは

で「その他」を選び、または決定ボタンを押す

②操作編 73 など

受信設定などの設定をしたいときは

で「初期」を選び、または決定ボタンを押す

54 65 など

- 「▽」の表示があるときは、を押すと、 次のページが表示されます。
- 「△」の表示があるときは、戻るボタンまたはを押すと前のページが表示されます。
- でグレー色の文字の項目を選んだときは、設定を切換えたり、決定ボタンで操作することはできません。

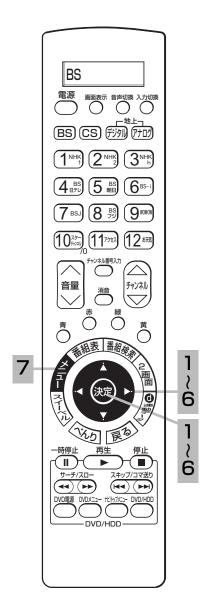
3

設定が終了したらメニューボタンを押して、メニューを消す

メニュー

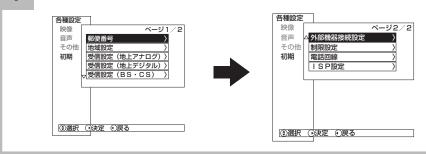
受信できるように設定する

電話回線を設定する

デジタル放送では、電話回線を使って有料番組の視聴記録送信や、視聴者参加番組でのデータ送信などが行なわれます。そのため、必ず電話回線の接続をしたうえ、電話設定を行なってください。

回線種別を設定する

お使いの電話契約に合わせて「プッシュ」、「ダイヤル 10」、「ダイヤル20」のいずれかに設定します。契約内容が不明のときは、「自動判別」を選ぶことにより自動設定もできます。
お買い上げ時は、「プッシュ」に設定されています。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「初期」画面の２ページ目を表示させる

2 で「電話回線」を選び、 または決定ボタンを押す

電話回線画面が表示されます。

3 で「回線種別」を選び、 または決定ボタンを押す

お買い上げ時は「プッシュ」に設定されています。

4 で「自動判別」を選び、決定ボタンを押す

自動判別された結果が表示されるまで１分程度待ちます。

自動判別できなかった場合、ご使用になっている電話回線の種別を選び、決定ボタンを押してください。

5 で「テスト」を選び、 または決定ボタンを押す

6 で「簡易テスト」を選び、決定ボタンを押す

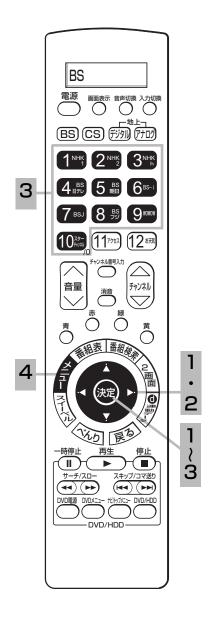
テスト結果が表示されるまで１分程度待ちます。

実際にダイヤル動作を行い回線の接続テストを行うときは「通話テスト」を選択してください。このテストには約 10 円の通話料がかかります。

7 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

- ご使用の電話回線がプッシュ式かダイヤル式かわからない場合は、ご使用の電話機からダイヤルし受話器から「ピッポッパッ」と聞こえるときはプッシュ（トーン）式です。「ガリガリ」または「ジリジリ」とダイヤルを回す音が聞こえるときはダイヤル（パルス）式です。
- 押しボタン式の電話機でもダイヤル式の場合があります。ご不明なときは最寄りの電話局にお問い合わせください。
- 「通話テスト」では「0570」ではじまるナビダイヤルに通話してテストを行います。
- NTT 東日本・西日本が提供する「ひかり電話」のような一般加入電話と異なる電話をご使用の場合「通話テスト」ができない場合があります。詳しくは、電話会社にお問い合わせください。

電話回線を設定する

内線発信を設定する

外線使用時に「0」発信などをしている場合に設定します。
お買い上げ時は、「しない」に設定されています。

電話回線画面 54 を表示させます。

1 で「内線発信」を選び、 または決定ボタンを押す

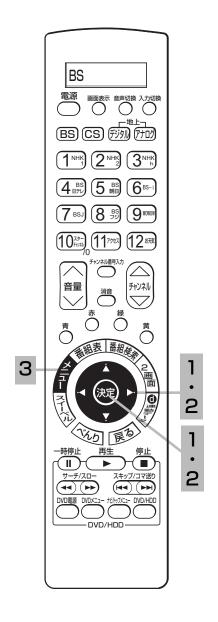
2 で「する」を選び、決定ボタンを押す

3 内線発信番号を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

例）0 発信の場合

4 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

- 外線へ発信できない場合は、電話装置メーカーや保守業者とご相談ください。
- 内線発信を「しない」に設定すると、設定した内線発信の内容は消去されます。

番号通知を設定する

電話を発信するときに、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。
お買い上げ時は、「設定しない」（電話会社との契約のとおり）に設定されています。

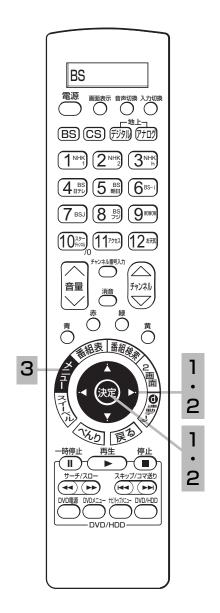
電話回線画面 54 を表示させます。

1 で「電話番号通知」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で設定項目を選び、決定ボタンを押す

通知する　：「186」をつけてダイヤルします。
通知しない：「184」をつけてダイヤルします。
設定しない：何もつけずにダイヤルします。

3 メニューボタンを押し、メニューを消す

電話回線を設定する

優先解除を設定する

マイラインプラスを登録しているときに、一時的に別の電話会社を利用したいときに設定します。
お買い上げ時は、「解除しない」に設定されています。

電話回線画面 54 を表示させせます。

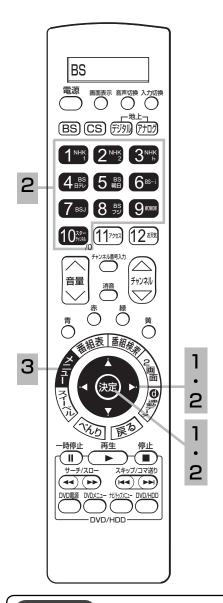
1 で「優先接続解除」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「する」を選び、決定ボタンを押す

解除する　：「122」をつけてダイヤルします。
解除しない：何もつけずにダイヤルします。

3 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

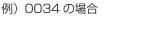
- 「解除する」を選んだ場合、マイラインプラスが一時的に解除され、任意の電話会社を利用できるようになります。「電話会社を設定する」 59 で、電話会社が設定されている場合は、その電話会社を利用し、電話会社の設定がない場合はマイライン登録している電話会社を利用します。
- マイラインプラスに加入していない場合は、「解除しない」を選択してください。

電話会社を設定する

マイラインやマイラインプラスで登録している電話会社とは別の電話会社を利用したいときに設定します。マイラインプラスを登録している場合は、あらかじめ「優先解除を設定する」58 で「解除する」を選んでください。
お買い上げ時は、「設定なし」になっています。

電話回線画面 54 を表示させます。

1 で「電話会社」を選び、または決定ボタンを押す

2 電話会社番号を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

例）0034 の場合

番号を入力している途中で修正するときは、ボタンをくり返し押して、修正したいところまで戻って行ってください。

3 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

- 1 つの電話番号の回線にモジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続されている場合は、電話機やファクシミリなどの使用中に本機の通信はできません。
- 不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および 2 線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHS など）では利用できない場合があります。

次のような症状がでるときは

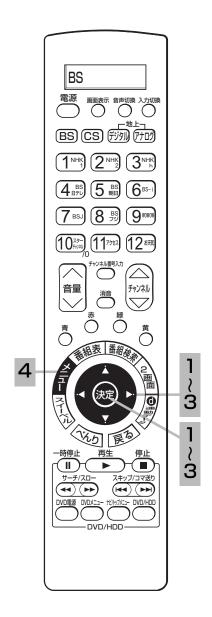
電話回線へ本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、一部の電話機やファクシミリで次のような症状がでることがあります。

●本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る

この症状がでるときは、付属のモジュラー分配器を使用せずに、市販されている自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。

●電話機にノイズ（雑音）が入る

この症状がでるときは、市販されている自動転換器（一般用）または、電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。
詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへご相談ください。

電話回線を設定する

待ち時間を設定する

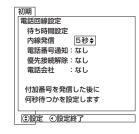
「内線発信」56、「電話番号通知」57、「優先接続解除」58、「電話会社」59 を設定した場合は、付加番号（例：「0」発信）を発信した後に何秒待つかを設定します。
お買い上げ時は、「なし」に設定されています。

電話回線画面 54 を表示させます。

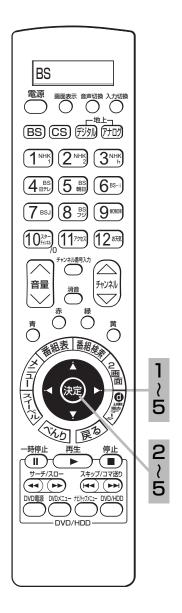
1 で「待ち時間」を選び、 または決定ボタンを押す

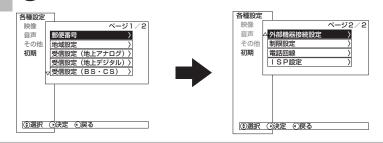
待ち時間設定画面が表示されます。

2 で設定したい項目を選び、 または決定ボタンを押す

3 で設定する時間を選び、 または決定ボタンを押す

4 メニューボタンを押し、メニューを消す

ISP(プロバイダー) を設定する

お買い上げ時は、IP アドレスを DHCP により自動で取得するモードに設定されています。
ここでは、手動で設定する必要がある場合を説明しています。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「初期」画面の 2 ページ目を表示させる

2 で「ISP 設定」を選び、 または決定ボタンを押す

ISP 設定画面が表示されます。

3 で「IP アドレス取得」を選び、 または決定ボタンを押す

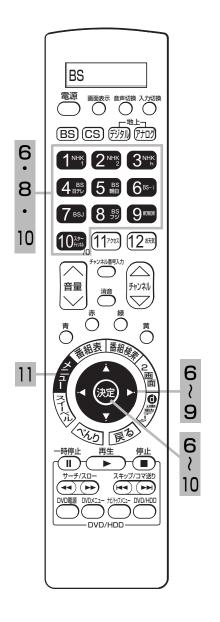
4 で「手動」を選び、 または決定ボタンを押す

5 で「IP アドレス」を選び、 または決定ボタンを押す

お知らせ

- MAC アドレスを設定することはできません。表示は、本機に設定されている値を示しています。
- IP アドレス取得が「DHCP」に設定されている場合、各項目を設定することはできません。

(次ページにつづく)

ISP(プロバイダー)を設定する(つづき)

6 数字ボタンで IP アドレスを設定し、決定ボタンを押す

7 ◯で「サブネットマスク」を選び、◯または決定ボタンを押す

8 数字ボタンでサブネットマスクを設定し、決定ボタンを押す

9 ◯で「デフォルトゲートウェイアドレス」を選び、◯または決定ボタンを押す

10 数字ボタンでデフォルトゲートウェイアドレスを設定し、決定ボタンを押す

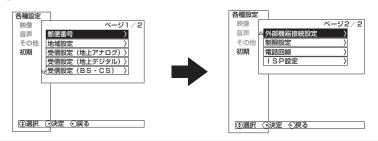
11 メニューボタンを押し、メニューを消す

LANを設定する

お買い上げ時は、通信設定は「自動」に設定してあります。
通信が正しく行われないとき以外は、「自動」でお使いください。
ここでは、手動で設定する必要がある場合を説明しています。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「初期」画面の２ページ目を表示させる

2 で「ISP 設定」を選び、または決定ボタンを押す

ISP 設定画面が表示されます。

3 青ボタンを押す

LAN 設定画面が表示されます。

4 で「通信設定」を選び、または決定ボタンを押す

5 で「手動」を選び、または決定ボタンを押す

お買い上げ時は「自動」に設定されています。

お知らせ

通信設定を「手動」にしたときの通信速度と通信モードの設定については、LAN端子に接続したADSLモデムやケーブルモデムの取扱説明書をご覧ください。

（次ページにつづく）

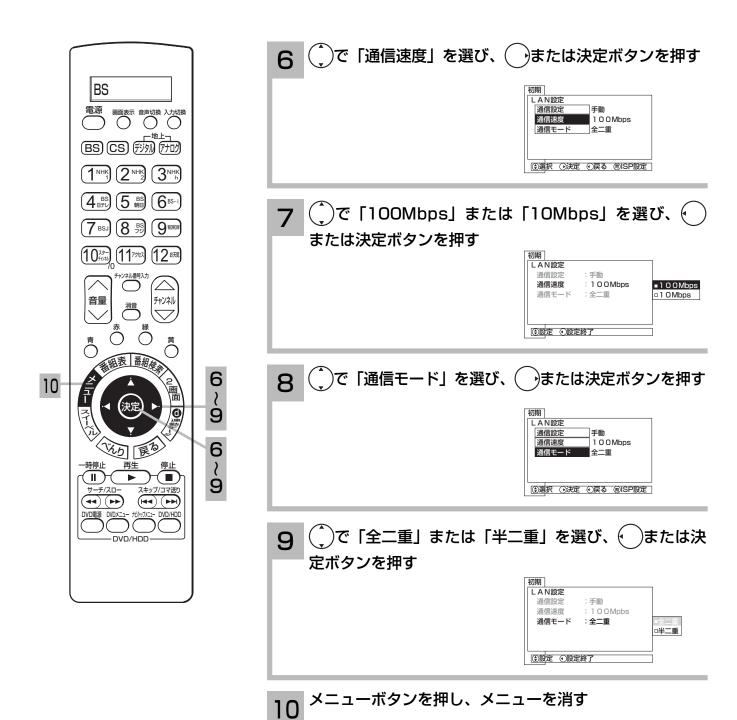
LANを設定する（つづき）

6 で「通信速度」を選び、または決定ボタンを押す

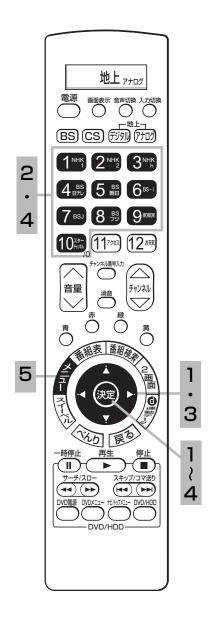
7 で「100Mbps」または「10Mbps」を選び、または決定ボタンを押す

8 で「通信モード」を選び、または決定ボタンを押す

9 で「全二重」または「半二重」を選び、または決定ボタンを押す

10 メニューボタンを押し、メニューを消す

お住まいの地域に合わせて受信設定をする

郵便番号および地域設定を設定する

この設定を行うと、お住まいの地域に関するデジタル放送の緊急放送やデータ放送を受信することができます。また、地上アナログ放送の受信チャンネルも自動的に設定されます。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「郵便番号」を選び、 または決定ボタンを押す

郵便番号設定画面が表示されます。

2 お住まいの地域の郵便番号（7 桁）を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

3 で「地域設定」を選び、 または決定ボタンを押す

地域設定画面が表示されます。

4 地上アナログ放送〔地域番号一覧表〕68～73を参照して、地域番号を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

例）東京都 23 区

頭に「0」の付く番号は、「0」を省略することができます。

5 メニューボタンを押し、メニューを消す

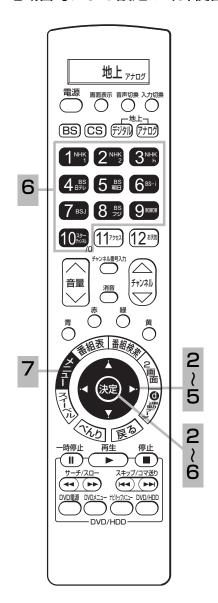
お知らせ

- 郵便番号、地域番号を消去する場合は全て「0」を設定し、決定ボタンを押します。
- 郵便番号を入力している途中で修正するときは、ボタンをくり返し押して、修正したいところまで戻してください。
- 地域番号一覧表に記載されていない地域の方は、手動で受信チャンネルを設定することができます。
  ■地上アナログ放送の場合 74

地上アナログ（UHF/VHF）放送の受信設定

地域番号によるチャンネルの合わせかた

お住まいの都市の地域番号を入力すると、地域番号一覧表に記載された放送局を設定することができます。地域番号一覧表に記載されていない地域の方や、地域番号によるチャンネル設定後その他のチャンネルを追加したい場合は，「マニュアルによるチャンネルの合わせかた」74をご覧ください。

地域番号による設定は「郵便番号および地域設定」65でも同様に設定できます。

1 地域番号一覧表からお住まいの都市の地域番号を調べる 68～73

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

2 （上下ボタン）で「受信設定（地上アナログ)」を選び、（右ボタン）または決定ボタンを押す

3 （上下ボタン）で「CH ボタン」を選び、（右ボタン）または決定ボタンを押す

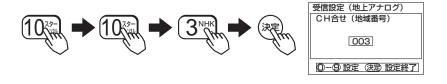
4 （上下ボタン）で「ワンタッチ」を選び、（左ボタン）または決定ボタンを押す

- 通常は「ワンタッチ」でお使いください。お買い上げ時は、「ワンタッチ」に設定されています。
- ワンタッチ：リモコンのチャンネルボタンを１回押すだけで選局できます。
- １０キー　：２桁の数字で選局できます。79

お知らせ

●一覧表の都市名にお住いの場合でも、場所によって放送局が異なる場合があります。このような場合は、チャンネルの合わせかた（マニュアル）74 によって設定を行ってください。
一部の放送局（●マーク）は、CH スキップ設定が「スキップする」に設定されています。必要に応じて、CH スキップ設定 83 を「スキップしない」に設定してください。
●地上デジタル放送用のチャンネルを確保するために、一部のアナログ放送局（中継局）のチャンネルを変更する作業が行われています。一部の対象となる地域では、従来のチャンネル配置に加え、新しいチャンネル配置を記載しておりますので、これらの地域にお住まいの方で、チャンネル受信ができない場合は、新しいチャンネル配置の地域番号（※マーク）で設定を行ってください。
（例）宇都宮　009（従来のチャンネル配置）
　　　宇都宮※ 141（新しいチャンネル配置）

5 で「CH 合せ（地域番号)」を選び、 または決定ボタンを押す

6 〔地域番号一覧表〕68～73を参照して、チャンネルボタンで地域番号を設定し、決定ボタンを押す

7 設定が終了したらメニューボタンを押し、メニューを消す

メ　モ

お買い上げ時の設定に戻すには、手順 6 で「OOO」（⑩ O ⑩ O ⑩ O）を入力します。

地域番号によるチャンネル合せについて

地域番号一覧表に記載されている地域の場合は、地域番号を設定するだけで自動的に設定されます。

地域番号の入力について

6 の操作のときに、頭に「0」の付く番号は、「0」を省略することができます。

003 のとき

013 のとき

受信できるように設定する

地上アナログ（UHF/VHF）放送の受信設定

〔地域番号一覧表〕

（2006 年７月現在）

（　）内の数字は表示番号を示します。
（　）の表示がない場合は受信チャンネル番号が表示番号になります。

お知らせ

「地上テレビジョン放送のデジタル化」に際し、一部の地域では、チャンネルの変更が行なわれる場合があります。一部の対象となる地域については、従来のチャンネル配置に加え、新しいチャンネル配置も記載しています。(※マーク)

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		チャンネルボタン → 受信チャンネル 放送局名												
北海道	札幌（江別）	001	1 HBC 北海道放送		3 NHK 総合	17 TVH	5 STV 札幌テレビ			27 UHB		35 HTB 北海道テレビ		12 NHK 教育
	旭川	048		2 NHK 教育		33 TVH	37 UHB	39 HTB 北海道テレビ	7 STV 札幌テレビ		9 NHK 総合		11 HBC 北海道放送	
	北見	049		2 NHK 教育					7 STV 札幌テレビ	53 HBC 北海道放送	9 NHK 総合	59 UHB	61 HTB 北海道テレビ	
	帯広	050				4 NHK 総合		6 HBC 北海道放送	32 UHB		34 HTB 北海道テレビ	10 STV 札幌テレビ		12 NHK 教育
	釧路	051		2 NHK 教育	39 HTB 北海道テレビ	41 UHB			7 STV 札幌テレビ		9 NHK 総合		11 HBC 北海道放送	
	函館	052	21 TVH	27 UHB	35 HTB 北海道テレビ	4 NHK 総合		6 HBC 北海道放送				10 NHK 教育		12 STV 札幌テレビ
	苫小牧	066	47 TVH	49 NHK 教育	51 NHK 総合	53 UHB	55 HBC 北海道放送	57 STV 札幌テレビ	61 HTB 北海道テレビ					
	小樽	067		2 NHK 教育		4 HTB 北海道テレビ			7 STV 札幌テレビ		9 HBC 北海道放送	24 TVH	11 NHK 総合	26 UHB
	室蘭	068		2 NHK 教育	29 TVH	37 UHB	39 HTB 北海道テレビ		7 STV 札幌テレビ		9 NHK 総合		11 HBC 北海道放送	
	名寄	100	24 HTB 北海道テレビ		26 UHB	4 NHK 総合		6 STV 札幌テレビ				10 HBC 北海道放送		12 NHK 教育
	稚内	101				22 STV 札幌テレビ	24 HTB 北海道テレビ	26 UHB	28 NHK 総合	30 NHK 教育		10 HBC 北海道放送		
	網走	102	1 HBC 北海道放送		3 NHK 総合		5 STV 札幌テレビ		27 UHB		35 HTB 北海道テレビ			12 NHK 教育
青森	青森（弘前）	002	1 RAB 青森放送		3 NHK 総合		5 NHK 教育		34 青森朝日放送		38 ATV 青森テレビ			
	八戸	053				31 青森朝日放送		33 ATV 青森テレビ	7 NHK 教育		9 NHK 総合		11 RAB 青森放送	
	むつ	103				4 NHK 総合		56 青森朝日放送		58 ATV 青森テレビ		10 RAB 青森放送		12 NHK 教育
岩手	盛岡	003				4 NHK 総合		6 IBC テレビ		8 NHK 教育		33 めんこいテレビ	31 岩手朝日テレビ	35 テレビ岩手
	釜石	104		2 NHK 総合		58 テレビ岩手		60 めんこいテレビ		62 岩手朝日テレビ		10 IBC テレビ		12 NHK 教育
	二戸	105		2 IBC テレビ			5 NHK 総合		27 岩手朝日テレビ	29 めんこいテレビ	37 テレビ岩手			12 NHK 教育
宮城	仙台	004	1 TBC テレビ		3 NHK 総合		5 NHK 教育		32 KHB 東日本放送		34 ミヤギテレビ			12 仙台放送
	石巻	106	59 TBC テレビ		51 NHK 総合		49 NHK 教育		61 KHB 東日本放送		55 ミヤギテレビ			57 仙台放送
	気仙沼	107		2 NHK 総合		4 TBC テレビ		6 仙台放送	37 ミヤギテレビ	43 KHB 東日本放送		10 NHK 教育		
秋田	秋田	005		2 NHK 教育					31 AAB 秋田朝日放送	37 AKT 秋田テレビ	9 NHK 総合		11 ABS 秋田放送	
	大館	054				4 NHK 総合	57 AKT 秋田テレビ	6 ABS 秋田放送		8 NHK 教育				59 AAB 秋田朝日放送
	大曲（横手）	108		43 NHK 教育					41 AAB 秋田朝日放送	51 AKT 秋田テレビ	45 NHK 総合		47 ABS 秋田放送	

	チャンネルボタン		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
山形	山形	006				4 NHK 教育		36 テレビ ユー山形		8 NHK 総合		10 YBC 山形放送	30 さくらんぼ テレビ	38 YTS 山形テレビ
	鶴岡 (酒田)	055	1 YBC 山形放送		3 NHK 総合			6 NHK 教育		22 テレビ ユー山形		39 YTS 山形テレビ		24 さくらんぼ テレビ
	米沢	109				50 NHK 教育		56 テレビ ユー山形		52 NHK 総合		54 YBC 山形放送	60 さくらんぼ テレビ	58 YTS 山形テレビ
福島	福島 (郡山)	007		2 NHK 教育		31 テレビ ユー福島			33 福島中央 テレビ	35 KFB 福島放送	9 NHK 総合		11 福島 テレビ	
	会津若松	056	1 NHK 総合		3 NHK 教育			6 福島 テレビ		37 福島中央 テレビ	41 KFB 福島放送			47 テレビ ユー福島
	いわき	057		32 テレビ ユー福島		4 NHK 総合		34 福島中央 テレビ		8 福島 テレビ		10 NHK 教育		36 KFB 福島放送
茨城	水戸	008	44(1) NHK 総合		46(3) NHK 教育	42(4) 日本 テレビ		40(6) TBS		38(8) フジ テレビジョン		36(10) テレビ 朝日		32(12) テレビ 東京
	日立 (ひたちなか)	069	52(1) NHK 総合		50(3) NHK 教育	54(4) 日本 テレビ		56(6) TBS		58(8) フジ テレビジョン		60(10) テレビ 朝日		62(12) テレビ 東京
栃木	宇都宮	009	29(1) NHK 総合		27(3) NHK 教育	25(4) 日本 テレビ		23(6) TBS	● 31 とちぎ テレビ	21(8) フジ テレビジョン		19(10) テレビ 朝日		17(12) テレビ 東京
	宇都宮※	141	51(1) NHK 総合		49(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ		55(6) TBS	● 31 とちぎ テレビ	57(8) フジ テレビジョン		41(10) テレビ 朝日		44(12) テレビ 東京
	矢板	070	51(1) NHK 総合		49(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ		55(6) TBS	● 33(31) とちぎ テレビ	57(8) フジ テレビジョン		59(10) テレビ 朝日		61(12) テレビ 東京
	矢板※	142	40(1) NHK 総合		30(3) NHK 教育	36(4) 日本 テレビ		42(6) TBS	● 33(31) とちぎ テレビ	45(8) フジ テレビジョン		59(10) テレビ 朝日		61(12) テレビ 東京
群馬	前橋 (高崎)	010	52(1) NHK 総合		50(3) NHK 教育	54(4) 日本 テレビ		56(6) TBS		58(8) フジ テレビジョン		60(10) テレビ 朝日	● 48 群馬 テレビ	62(12) テレビ 東京
	桐生	071	43(1) NHK 総合		45(3) NHK 教育	39(4) 日本 テレビ		37(6) TBS		35(8) フジ テレビジョン		33(10) テレビ 朝日	● 41(48) 群馬 テレビ	31(12) テレビ 東京
	桐生※	143	51(1) NHK 総合		57(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ		55(6) TBS		35(8) フジ テレビジョン		59(10) テレビ 朝日	● 41(48) 群馬 テレビ	61(12) テレビ 東京
埼玉	さいたま	011	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4 日本 テレビ	● 14 東京 MX テレビ	6 TBS		8 フジ テレビジョン	● 38 テレ玉	10 テレビ 朝日		12 テレビ 東京
	熊谷 (児玉)	072	33(1) NHK 総合		35(3) NHK 教育	25(4) 日本 テレビ		23(6) TBS		21(8) フジ テレビジョン	● 28(38) テレ玉	19(10) テレビ 朝日		17(12) テレビ 東京
	熊谷 (児玉)※	144	51(1) NHK 総合		35(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ		55(6) TBS		57(8) フジ テレビジョン	● 30(38) テレ玉	59(10) テレビ 朝日		61(12) テレビ 東京
	秩父	110	51(1) NHK 総合		49(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ		55(6) TBS		57(8) フジ テレビジョン	● 47(38) テレ玉	59(10) テレビ 朝日		61(12) テレビ 東京
	秩父※	145	14(1) NHK 総合		49(3) NHK 教育	16(4) 日本 テレビ		18(6) TBS		29(8) フジ テレビジョン	● 47(38) テレ玉	38(10) テレビ 朝日		44(12) テレビ 東京
千葉	千葉	012	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4 日本 テレビ	● 14 東京 MX テレビ	6 TBS		8 フジ テレビジョン		10 テレビ 朝日	● 46 チバ テレビ	12 テレビ 東京
	銚子	111	51(1) NHK 総合		49(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ		55(6) TBS		57(8) フジ テレビジョン		59(10) テレビ 朝日	● 39(46) チバ テレビ	61(12) テレビ 東京
東京	23 区	013	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4 日本 テレビ	● 14 東京 MX テレビ	6 TBS	● 38 テレ玉	8 フジ テレビジョン	● 42 tvk	10 テレビ 朝日	● 46 チバ テレビ	12 テレビ 東京
	八王子	073	51(1) NHK 総合		49(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ	● 47(14) 東京 MX テレビ	55(6) TBS		57(8) フジ テレビジョン		59(10) テレビ 朝日		61(12) テレビ 東京
	八王子※	146	33(1) NHK 総合		29(3) NHK 教育	35(4) 日本 テレビ	● 40(14) 東京 MX テレビ	37(6) TBS		31(8) フジ テレビジョン		45(10) テレビ 朝日		62(12) テレビ 東京
	多摩	074	30(1) NHK 総合		32(3) NHK 教育	26(4) 日本 テレビ	● 28(14) 東京 MX テレビ	24(6) TBS		22(8) フジ テレビジョン		20(10) テレビ 朝日		18(12) テレビ 東京
	多摩※	147	49(1) NHK 総合		47(3) NHK 教育	51(4) 日本 テレビ	● 61(14) 東京 MX テレビ	53(6) TBS		55(8) フジ テレビジョン		57(10) テレビ 朝日		59(12) テレビ 東京

地上アナログ（UHF/VHF）放送の受信設定

	チャンネルボタン		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
神奈川	横浜 1	112	52(1) NHK総合		50(3) NHK教育	54(4) 日本テレビ		56(6) TBS		58(8) フジテレビジョン	● 48(42) tvk	60(10) テレビ朝日		62(12) テレビ東京
	横浜 2	014	1 NHK総合		3 NHK教育	4 日本テレビ	● 14 東京 MX テレビ	6 TBS		8 フジテレビジョン	● 42 tvk	10 テレビ朝日		12 テレビ東京
	平塚（茅ヶ崎）	075	33(1) NHK総合		29(3) NHK教育	35(4) 日本テレビ		37(6) TBS		39(8) フジテレビジョン	● 31(42) tvk	41(10) テレビ朝日		43(12) テレビ東京
	小田原	076	52(1) NHK総合		50(3) NHK教育	54(4) 日本テレビ		56(6) TBS		58(8) フジテレビジョン	● 46(42) tvk	60(10) テレビ朝日		62(12) テレビ東京
	秦野	077	47(1) NHK総合		49(3) NHK教育	51(4) 日本テレビ		53(6) TBS		55(8) フジテレビジョン	● 61(42) tvk	57(10) テレビ朝日		59(12) テレビ東京
新潟	新潟（長岡）	015				21 新潟テレビ 21	5 BSN	29 TeNY テレビ新潟		8 NHK総合		35 NST		12 NHK教育
	上越	078	1 NHK教育		3 NHK総合			27 TeNY テレビ新潟		33 NST		10 BSN		37 新潟テレビ 21
富山	富山	016	1 KNB 北日本放送		3 NHK総合					32 チューリップテレビ		10 NHK教育		34 BBT 富山テレビ
	高岡	079	50 KNB 北日本放送		48 NHK総合					42 チューリップテレビ		46 NHK教育		44 BBT 富山テレビ
石川	金沢（小松）	017				4 NHK総合		6 MRO	25 北陸朝日放送	8 NHK教育		33 テレビ金沢		37 石川テレビ
	七尾	115					5 NHK教育		59 北陸朝日放送		9 NHK総合	57 テレビ金沢	11 MRO	55 石川テレビ
福井	福井	018			3 NHK教育						9 NHK総合		11 FBC テレビ	39 福井テレビ
	敦賀	116				38 福井テレビ		6 NHK総合		8 FBC テレビ				12 NHK教育
山梨	甲府	019	1 NHK総合		3 NHK教育		5 YBS 山梨放送	37 UTY						
長野	長野 1	113		44(2) NHK総合			50(20) abn長野朝日放送		40(30) テレビ信州	42(38) NBS 長野放送	46(9) NHK教育		48(11) SBC 信越放送	
	長野 2	020		2 NHK総合			20 abn長野朝日放送		30 テレビ信州	38 NBS 長野放送	9 NHK教育		11 SBC 信越放送	
	飯田	058	40 NBS 長野放送		3 NHK教育	4 NHK総合		6 SBC 信越放送	42 テレビ信州		44 abn長野朝日放送			
	松本	080		44 NHK総合			50 abn長野朝日放送		48 テレビ信州	42 NBS 長野放送	46 NHK教育		40 SBC 信越放送	
	岡谷（諏訪）	114				4 NHK総合		6 SBC 信越放送		8 NHK教育		47 NBS 長野放送	59 テレビ信州	61 ABN 長野朝日放送
岐阜	岐阜（大垣）	021	1 東海テレビ		3 NHK総合		5 CBC		35 中京テレビ	25 テレビ愛知	9 NHK教育		11 メ~テレ	37 岐阜テレビ
	高山	117		2 NHK教育		4 NHK総合		6 CBC		8 東海テレビ		26 中京テレビ	38 岐阜テレビ	12 メ~テレ
	中津川	118		26 中京テレビ		4 NHK総合		6 メ~テレ		8 CBC		10 東海テレビ	28 岐阜テレビ	12 NHK教育
静岡	静岡（清水）	022		2 NHK教育		31 静岡第一テレビ	33 静岡朝日テレビ	35 テレビ静岡			9 NHK総合		11 SBS	
	浜松	059				4 NHK総合		6 SBS		8 NHK教育	28 静岡朝日テレビ	30 静岡第一テレビ		34 テレビ静岡
	富士（富士宮）	081		54 NHK教育		27 静岡第一テレビ		29 静岡朝日テレビ			52 NHK総合		41 SBS	39 テレビ静岡
	沼津（三島）	082		51 NHK教育		61 静岡第一テレビ		57 静岡朝日テレビ			53 NHK総合		55 SBS	59 テレビ静岡
	藤枝	119	42 NHK総合		44 NHK教育		40 SBS			24 静岡第一テレビ		26 静岡朝日テレビ		38 テレビ静岡

	チャンネルボタン		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放 送 局 名											
静岡	島田	083	15(1) NHK総合		18(3) NHK教育		22(5) SBS			48 静岡第一テレビ		50 静岡朝日テレビ		58 テレビ静岡
	島田※	150	56(1) NHK総合		54(3) NHK教育		62(5) SBS			48 静岡第一テレビ		50 静岡朝日テレビ		58 テレビ静岡
愛知	名古屋	023	1 東海テレビ		3 NHK総合		5 CBC		25 テレビ愛知	●37 岐阜テレビ	9 NHK教育	●33 三重テレビ	11 メ~テレ	35 中京テレビ
	豊橋(豊川)	084	56(1) 東海テレビ		54(3) NHK総合		62(5) CBC		52(25) テレビ愛知		50(9) NHK教育		60(11) メ~テレ	58(35) 中京テレビ
	豊田	085	57(1) 東海テレビ		53(3) NHK総合		55(5) CBC		49(25) テレビ愛知		51(9) NHK教育		61(11) メ~テレ	59(35) 中京テレビ
	蒲郡田原	120	38(1) 東海テレビ		44(3) NHK総合		36(5) CBC		32(25) テレビ愛知		46(9) NHK教育		42(11) メ~テレ	40(35) 中京テレビ
三重	津	024	1 東海テレビ		3 NHK総合		5 CBC		25 テレビ愛知		9 NHK教育	33 三重テレビ	11 メ~テレ	35 中京テレビ
	伊勢	086	57(1) 東海テレビ		53(3) NHK総合		55(5) CBC				49(9) NHK教育	59(33) 三重テレビ	61(11) メ~テレ	47(35) 中京テレビ
	名張(上野)	121	52 NHK総合	2 NHK総合	54 中京テレビ	4 MBS毎日放送	56 メ~テレ	6 ABCテレビ	58 三重テレビ	8 関西テレビ	60 CBC	10 よみうりテレビ	62 東海テレビ	12 NHK教育
滋賀	大津	025		28(2) NHK総合		36(4) MBS毎日放送		38(6) ABCテレビ		40(8) 関西テレビ	●34 KBS京都	42(10) よみうりテレビ	30 BBCびわ湖放送	46(12) NHK教育
	彦根	087		52(2) NHK総合		54(4) MBS毎日放送		58(6) ABCテレビ		60(8) 関西テレビ	●34 KBS京都	62(10) よみうりテレビ	56(30) BBCびわ湖放送	50(12) NHK教育
京都	京都	026		2 NHK総合		4 MBS毎日放送	●19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	●26 奈良テレビ	8 関西テレビ	34 KBS京都	10 よみうりテレビ	●36 サンテレビ	12 NHK教育
	舞鶴 1	122		43(2) NHK総合		33(4) MBS毎日放送		35(6) ABCテレビ		39(8) 関西テレビ	37(34) KBS京都	41(10) よみうりテレビ		45(12) NHK教育
	舞鶴 2	123		51(2) NHK総合		53(4) MBS毎日放送		55(6) ABCテレビ		59(8) 関西テレビ	57(34) KBS京都	61(10) よみうりテレビ		49(12) NHK教育
	福知山	124		50(2) NHK総合		54(4) MBS毎日放送	56(34) KBS京都	58(6) ABCテレビ		60(8) 関西テレビ		62(10) よみうりテレビ		52(12) NHK教育
	宮津	125		43(2) NHK総合		33(4) MBS毎日放送		35(6) ABCテレビ		37(8) 関西テレビ	39(34) KBS京都	41(10) よみうりテレビ		45(12) NHK教育
大阪	大阪	027		2 NHK総合		4 MBS毎日放送	19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	●30 テレビ和歌山	8 関西テレビ	●34 KBS京都	10 よみうりテレビ	●36 サンテレビ	12 NHK教育
兵庫	神戸	028		2 NHK総合	36 サンテレビ	4 MBS毎日放送	●19 テレビ大阪	6 ABCテレビ	●30 テレビ和歌山	8 関西テレビ	●34 KBS京都	10 よみうりテレビ		12 NHK教育
	神戸北	130		28(2) NHK総合	36 サンテレビ	18(4) MBS毎日放送	19 テレビ大阪	20(6) ABCテレビ		22(8) 関西テレビ		24(10) よみうりテレビ		26(12) NHK教育
	神戸北※	148		28(2) NHK総合	36 サンテレビ	31(4) MBS毎日放送	19 テレビ大阪	41(6) ABCテレビ		43(8) 関西テレビ		47(10) よみうりテレビ		45(12) NHK教育
	川西 1	131		29(2) NHK総合	33(36) サンテレビ	35(4) MBS毎日放送	21(19) テレビ大阪	37(6) ABCテレビ		39(8) 関西テレビ		41(10) よみうりテレビ		31(12) NHK教育
	川西 2	132		49(2) NHK総合	53(36) サンテレビ	55(4) MBS毎日放送	47(19) テレビ大阪	57(6) ABCテレビ		59(8) 関西テレビ		61(10) よみうりテレビ		51(12) NHK教育
	姫路	088		50(2) NHK総合	56(36) サンテレビ	54(4) MBS毎日放送		58(6) ABCテレビ		60(8) 関西テレビ		62(10) よみうりテレビ		52(12) NHK教育
	明石(加古川)	089		51(2) NHK総合	55(36) サンテレビ	53(4) MBS毎日放送	●19 テレビ大阪	57(6) ABCテレビ		59(8) 関西テレビ		61(10) よみうりテレビ		49(12) NHK教育
	三木	090		44(2) NHK総合	36 サンテレビ	34(4) MBS毎日放送		38(6) ABCテレビ		40(8) 関西テレビ		42(10) よみうりテレビ		46(12) NHK教育
奈良	奈良(橿原)	029		2 NHK総合		4 MBS毎日放送	●19 テレビ大阪	6 ABCテレビ		8 関西テレビ	55 奈良テレビ	10 よみうりテレビ	●34 KBS京都	12 NHK教育
	五条	126		43(2) NHK総合		33(4) MBS毎日放送		35(6) ABCテレビ		37(8) 関西テレビ	41(55) 奈良テレビ	39(10) よみうりテレビ		45(12) NHK教育

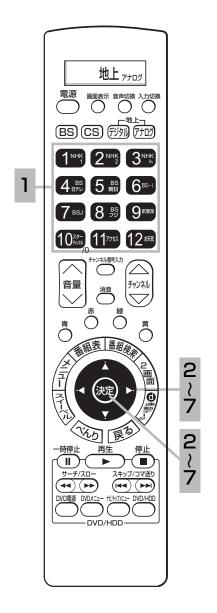
地上アナログ（UHF/VHF）放送の受信設定

	チャンネルボタン		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	都市名	地域番号	受信チャンネル 放送局名											
和歌山	和歌山	030		32(2) NHK総合		42(4) MBS毎日放送		44(6) ABCテレビ		46(8) 関西テレビ		48(10) よみうりテレビ	30 テレビ和歌山	26(12) NHK教育
	和歌山※	149		32(2) NHK総合		42(4) MBS毎日放送		44(6) ABCテレビ		46(8) 関西テレビ		48(10) よみうりテレビ	30 テレビ和歌山	25(12) NHK教育
	田辺(白浜)	127		50(2) NHK総合		54(4) MBS毎日放送		58(6) ABCテレビ		60(8) 関西テレビ		62(10) よみうりテレビ	56(30) テレビ和歌山	52(12) NHK教育
	田辺(槙山)	128		16(2) NHK総合		22(4) MBS毎日放送		25(6) ABCテレビ		27(8) 関西テレビ		29(10) よみうりテレビ	20(30) テレビ和歌山	18(12) NHK教育
	御坊	129		49(2) NHK総合		53(4) MBS毎日放送		57(6) ABCテレビ		59(8) 関西テレビ		61(10) よみうりテレビ	55(30) テレビ和歌山	51(12) NHK教育
鳥取	鳥取	031	1 日本海テレビ		3 NHK総合	4 NHK教育						22 BSSテレビ		24 山陰中央テレビ
島根	松江	032	30 日本海テレビ					6 NHK総合		34 山陰中央テレビ		10 BSSテレビ		12 NHK教育
	浜田	061		2 NHK総合	54 日本海テレビ		5 BSSテレビ			58 山陰中央テレビ	9 NHK教育			
岡山	岡山(倉敷)	033	23 テレビせとうち	25 KSB瀬戸内海放送	3 NHK教育		5 NHK総合		35 OHKテレビ		9 RNC西日本テレビ		11 RSKテレビ	
	津山	133		2 NHK総合					7 RSKテレビ	56 テレビせとうち	58 RNC西日本テレビ	60 OHKテレビ	62 KSB瀬戸内海放送	12 NHK教育
	笠岡	134		2 NHK総合		4 NHK教育		6 RSKテレビ		17 RNC西日本テレビ		19 テレビせとうち	21 KSB瀬戸内海放送	60 OHKテレビ
	笠岡※	151		2 NHK総合		4 NHK教育		6 RSKテレビ		34 RNC西日本テレビ		22 テレビせとうち	55 KSB瀬戸内海放送	60 OHKテレビ
広島	広島	034	31 TSS		3 NHK総合	4 RCCテレビ			7 NHK教育			35 広島ホームテレビ		12 広島テレビ
	福山	060			3 NHK教育		5 NHK総合	54 TSS	7 RCCテレビ		57 広島ホームテレビ		11 広島テレビ	
	尾道	135	1 NHK総合		24 広島ホームテレビ		26 TSS		7 NHK教育			10 RCCテレビ		12 広島テレビ
	呉	091	1 NHK教育		24 広島ホームテレビ		5 広島テレビ		26 TSS		9 RCCテレビ		11 NHK総合	
山口	山口	035	1 NHK教育			28 YAB山口朝日			38 TYSテレビ山口		9 NHK総合		11 KRY山口放送	
	下関	092		2 KBC九州朝日放送	33 TYSテレビ山口	4 KRY山口放送	35 FBS福岡放送	6 NHK総合	39 NHK総合	8 RKB毎日放送	23 TVQ九州放送	10 TNCテレビ西日本	21 YAB山口朝日	12 NHK教育
	宇部	093	14 NHK教育				31 YAB山口朝日		20 TYSテレビ山口		16 NHK総合		18 KRY山口放送	
	宇部※	152	55 NHK教育				24 YAB山口朝日		44 TYSテレビ山口		58 NHK総合		61 KRY山口放送	
	岩国	094			3 NHK総合	4 RCCテレビ	31 TSS	35 広島ホームテレビ	7 NHK教育		28 YAB山口朝日	22 TYSテレビ山口	11 KRY山口放送	12 広島テレビ
	岩国※	153			3 NHK総合	4 RCCテレビ	31 TSS	35 広島ホームテレビ	7 NHK教育		28 YAB山口朝日	62 TYSテレビ山口	11 KRY山口放送	12 広島テレビ
徳島	徳島	036	1 四国放送		3 NHK総合	4 MBS毎日放送		6 ABCテレビ		8 関西テレビ		10 よみうりテレビ		12 NHK教育
香川	高松	037	19 テレビせとうち	33 KSB瀬戸内海放送	39 NHK教育		37 NHK総合		31 OHKテレビ		41 RNC西日本テレビ		29 RSKテレビ	
	丸亀	095	16 テレビせとうち	42 KSB瀬戸内海放送	40 NHK教育		44 NHK総合		22 OHKテレビ		20 RNC西日本テレビ		18 RSKテレビ	
	丸亀※	154	46 テレビせとうち	42 KSB瀬戸内海放送	40 NHK教育		44 NHK総合		52 OHKテレビ		50 RNC西日本テレビ		48 RSKテレビ	

都道府県	都市名	地域番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
			受信チャンネル 放送局名											
愛媛	松山	038		2 NHK教育		25 愛媛朝日	29 あいテレビ	6 NHK総合	●31 TSS	37 テレビ愛媛	●35 広島ホームテレビ	10 南海放送		
	新居浜	062		2 NHK総合		4 NHK教育	14 愛媛朝日	6 南海放送	●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 RNC西日本テレビ	27 あいテレビ	●11 RSKテレビ	
	新居浜※	155		2 NHK総合		4 NHK教育	14 愛媛朝日	6 南海放送	●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 RNC西日本テレビ	16 あいテレビ	●11 RSKテレビ	
	今治	096		30 NHK総合		14 愛媛朝日	27 あいテレビ	32 NHK総合	●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 RNC西日本テレビ	34 南海放送	●11 RSKテレビ	
	今治※	158		55 NHK教育		14 愛媛朝日	16 あいテレビ	58 NHK総合	●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 RNC西日本テレビ	34 南海放送	●11 RSKテレビ	
	宇和島	136	1 NHK教育			16 愛媛朝日		6 NHK総合	32 テレビ愛媛		34 あいテレビ	10 南海放送		
	宇和島※	156	1 NHK教育			16 愛媛朝日		6 NHK総合	27 テレビ愛媛		25 あいテレビ	10 南海放送		
高知	高知	039				4 NHK総合		6 NHK教育		8 高知放送		38 テレビ高知		40 さんさんテレビ
福岡	福岡	040	1 KBC九州朝日放送		3 NHK総合	4 RKB毎日放送		6 NHK教育			9 TNCテレビ西日本		19 TVQ九州放送	37 FBS福岡放送
	北九州	063		2 KBC九州朝日放送	23 TVQ九州放送	35 FBS福岡放送		6 NHK総合		8 RKB毎日放送		10 TNCテレビ西日本		12 NHK教育
	久留米	097	14 TVQ九州放送	46 NHK総合	48 RKB毎日放送	52 FBS福岡放送	54 NHK教育	57 KBC九州朝日放送	60 TNCテレビ西日本					
	大牟田	098	19 TVQ九州放送	43 FBS福岡放送	50 NHK教育	53 NHK総合	55 TNCテレビ西日本	58 KBC九州朝日放送	61 RKB毎日放送					
	行橋	137	19 TVQ九州放送	43 FBS福岡放送	46 NHK教育	49 NHK総合	54 TNCテレビ西日本	57 KBC九州朝日放送	60 RKB毎日放送					
佐賀	佐賀	041	14 TVQ九州放送	36 STSサガテレビ	38 NHK総合	40 NHK教育	48 RKB毎日放送	52 FBS福岡放送	57 KBC九州朝日放送	60 TNCテレビ西日本			11 RKK熊本放送	
長崎	長崎	042	1 NHK教育		3 NHK総合		5 NBC長崎放送		37 KTNテレビ長崎		25 NIB長崎国際テレビ		27 NCC長崎文化放送	
	諫早	139	45 NHK教育		47 NHK総合		49 NBC長崎放送		42 KTNテレビ長崎		20 NIB長崎国際テレビ		24 NCC長崎文化放送	
	諫早※	157	51 NHK教育		59 NHK総合		62 NBC長崎放送		39 KTNテレビ長崎		32 NIB長崎国際テレビ		56 NCC長崎文化放送	
	佐世保	099		2 NHK教育		17 NIB長崎国際テレビ		31 NCC長崎文化放送		8 NHK総合		10 NBC長崎放送		35 KTNテレビ長崎
熊本	熊本(八代)	043		2 NHK教育	16 KAB熊本朝日放送				22 KKTくまもと県民	34 TKUテレビ熊本	9 NHK総合		11 RKK熊本放送	
大分	大分(別府)	044			3 NHK総合		5 OBS大分放送		36 TOSテレビ大分		24 OAB大分朝日放送			12 NHK教育
	中津	138			48 NHK総合		51 OBS大分放送		37 TOSテレビ大分		17 OAB大分朝日放送			45 NHK教育
宮崎	宮崎(都城)	045	35 UMKテレビ宮崎							8 NHK総合		10 MRT宮崎放送		12 NHK教育
	延岡	064	39 UMKテレビ宮崎	2 NHK教育		4 NHK総合		6 MRT宮崎放送						
鹿児島	鹿児島	046	1 MBC南日本放送		3 NHK総合		5 NHK教育		30 KYT鹿児島読売TV		32 KKB鹿児島放送		38 KTS鹿児島テレビ	
	阿久根	065		17 KYT鹿児島読売TV		23 KKB鹿児島放送		35 KTS鹿児島テレビ		8 NHK総合		10 MBC南日本放送		12 NHK教育
	鹿屋	140		2 NHK教育		4 NHK総合		6 MBC南日本放送		25 KYT鹿児島読売TV		31 KKB鹿児島放送		33 KTS鹿児島テレビ
沖縄	那覇(沖縄)	047		2 NHK総合						8 沖縄テレビ(OTV)	28 QAB琉球朝日放送	10 RBCテレビ		12 NHK教育

地上アナログ（UHF/VHF）放送の受信設定

マニュアルによるチャンネルの合わせかた

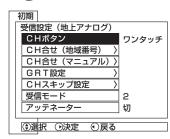
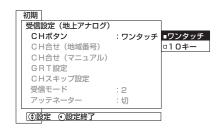
地域番号一覧表に記載されていない地域や、地域番号によるチャンネル合わせをした後でその他のチャンネルを追加設定することができます。

ワンタッチ方式

例）リモコンの⑤の位置（ボタン番号 5P）に UHF の 42 チャンネル（表示：35）を設定する方法

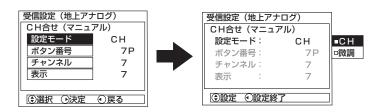
1 変えたいチャンネルボタンを押す

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

2 で「受信設定（地上アナログ)」を選び、または決定ボタンを押す

3 で「CH ボタン」を選び、または決定ボタンを押す

4 で「ワンタッチ」を選び、または決定ボタンを押す

- 通常は「ワンタッチ」でお使いください。お買い上げ時は、「ワンタッチ」に設定されています。
- ワンタッチ：リモコンのチャンネルボタンを 1 回押すだけで選局できます。
- 10 キー　：2 桁の数字で選局できます。79

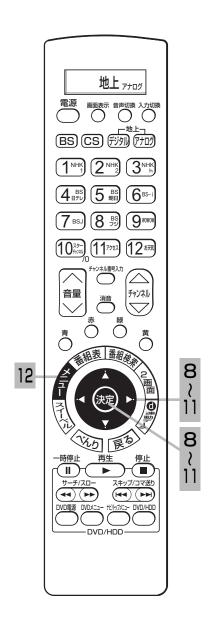
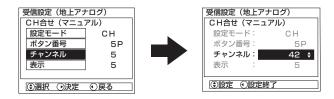
5 で「CH合せ〔マニュアル〕」を選び、または決定ボタンを押す

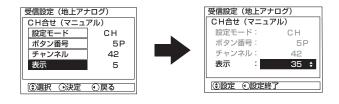
6 で「設定モード」を選び、または決定ボタンを押し、で「CH」を選択し、または決定ボタンを押す

7 で「ボタン番号」を選び、または決定ボタンを押すで「5P」を選択し、または決定ボタンを押す

最初は現在の受信チャンネルボタンが表示されます。

（次ページにつづく）

地上アナログ（UHF/VHF）放送の受信設定

マニュアルによるチャンネルの合わせかた (つづき)

8 で「チャンネル」を選び、 または決定ボタンを押す
で「42」を選択し、 または決定ボタンを押す

●ボタンを 0.5 秒以上押し続けると自動的に放送チャンネルを探して止まり、映像が出ます。
●設定モードが「微調」のときは、受信しているチャンネルの同調を微調節することができます。

9 で「表示」を選び、 または決定ボタンを押す
で「35」を選択し、 または決定ボタンを押す

画面表示ボタンを押すと「35」と表示されるようになります。

10 設定したチャンネルで、微調したい場合は、手順 6 で「微調」を選択し、手順 8 で「チャンネル」を選び、 で同調をずらし微調する

11 設定が終了したら または決定ボタンを押す

12 メニューボタンを押し、メニューを消す

※複数のチャンネルを変更する場合 7 ～ 10 の操作をくり返す。

お知らせ

チャンネル表示番号ついて
地上アナログ放送の録画予約の場合、チャンネル表示番号が予約一覧のチャンネルとして表示されますので、複数のボタン番号に同じ表示番号が設定されていると正しく予約できないことがあります。
同じ表示番号を設定しないでください。

メ　モ

チャンネルなどの数字入力について

手順 7～10 で、数字を選択するときにチャンネルボタン①～⑨、⑩₀を数字の１～９、０として２桁の数字で入力することができます。手順 8、9 でCATVチャンネルを入力するときは、チャンネルボタン⑫で先に「CATV ーー」と入力してください。

ボタン番号13P～63Pについて

リモコンのボタンだけでは足りない場合の予備のボタン番号です。13P～63Pに設定したチャンネルは、本体またはリモコンのチャンネルアップ/ダウンボタンで選ぶことができます。（チャンネルスキップ設定 83 を「スキップしない」に設定した場合）

CATV（ケーブルテレビ）について

CATVはUHF62チャンネルとVHF1チャンネルの間で設定できます。

CATVは、サービスがある地域でのみ受信できます。受信するには、CATV会社との加入手続きが必要です。また、スクランブル方式など有料のCATVの場合は、受信契約に加え、ホームターミナル(アダプター)の使用が必要になります。詳しくは、CATV関係各社にお問い合わせください。

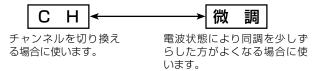
選局時の「CH」、「微調」の選択について

6 の操作のときに◯を押すと、選局モードがつぎのように変わります。

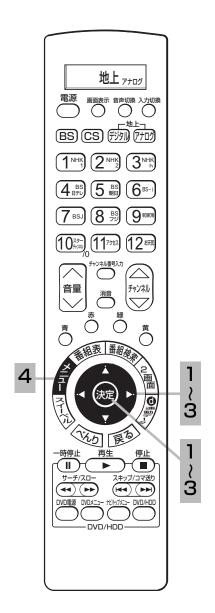
C H ←→ 微　調

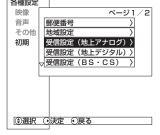
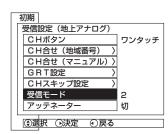
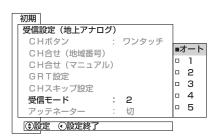
チャンネルを切り換える場合に使います。

電波状態により同調を少しずらした方がよくなる場合に使います。

受信できるように設定する

地上アナログ（UHF/VHF）放送の受信設定

受信モードの設定について

地上アナログ放送の受信状態が良くない場合に、ノイズを軽減することができます。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 （上下）で「受信設定（地上アナログ）」を選び、（右）または決定ボタンを押す

2 （上下）で「受信モード」を選び、（右）または決定ボタンを押す

3 （上下）でお好みに設定し、（左）または決定ボタンを押す

設　定	設定のポイント
オート	受信状態に応じて自動調整
1	受信状態が良い場合
2	↑
3	｜
4	↓
5	受信状態が悪い場合

お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

4 設定が終了したらメニューボタンを押し、メニューを消す

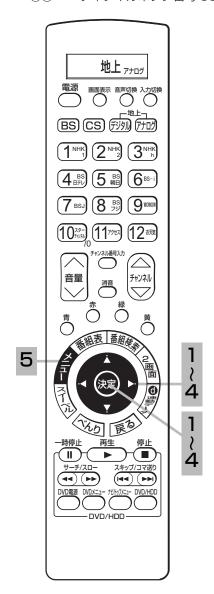
お知らせ

- ●受信モード設定は、チャンネルの受信状態に応じて設定します。通常は「オート」でお使いください。お好みの設定にしたいときは「1 ～ 5」を設定します。
- ●受信モードはデジタル放送やビデオ入力に対しては働きません。

10キー方式にかえたいとき

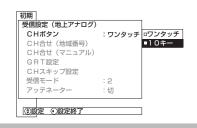
10キー方式について

CATVなどの多チャンネル放送をご覧になるときは、10キー方式を選択することにより、2桁の数字でチャンネルボタン番号を選択できます。10キー方式でチャンネルボタン番号を選ぶときは、リモコンチャンネルボタン①～⑨、⑩0を数字の1～9、0として2桁の数字を入力することにより選択します。

例）⑩0⑦····チャンネルボタン番号7P
　　③⑧ ····チャンネルボタン番号38P

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定（地上アナログ)」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「CHボタン」を選び、または決定ボタンを押す

3 で「10キー」を選び、または決定ボタンを押す

4 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

5 メニューボタンを押し、メニューを消す

メ　モ

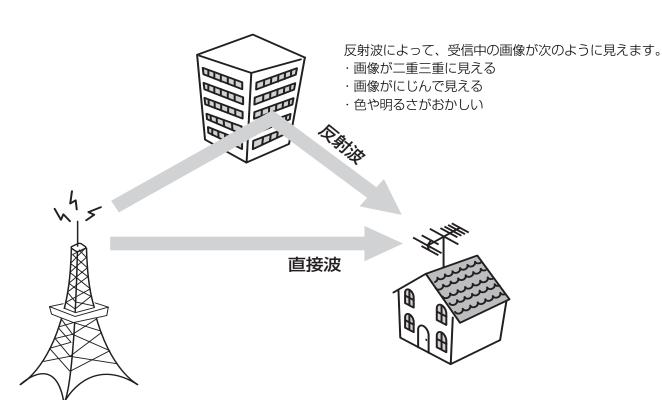
お買い上げ時は、ボタン番号1P～63PにそれぞれVHF1～12およびCATV13～63チャンネルが設定されていますので、VHFおよびCATVを①～⑩0のボタンで選局することができます。

地上アナログ（UHF/VHF）放送の受信設定

ゴースト妨害を低減したいとき

本機は、ゴースト妨害を低減するゴースト・リダクション・チューナー（GRT）を搭載しています。地上アナログ放送のゴースト妨害を低減した映像を楽しめます。

ゴースト妨害とは

放送局から直接到着する電波（直接波）と、高層ビルや山などに反射して少し遅れて到着する電波（反射波）を同時に受信すると、二重三重の画像になります。この現象をゴースト妨害といいます。

お知らせ

●ゴースト低減は、放送局から送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号（GCR 信号）に基づいて行います。このGCR 信号がないときは、ゴーストは低減できません。

●ゴーストリダクションは、地上アナログ放送をご覧になっているときに働きます。デジタル放送やビデオ入力端子に入力した映像に対しては働きません。

●地上アナログ放送をご覧になっているときでも、次のような場合はゴーストリダクションが働かなかったり、ゴーストが残ることがあります。
・受信状態が良くないとき
UHF/VHF アンテナの向きが合っていない場合やアンテナ線の接続が正しくない場合など 28
・ゴースト妨害が大きいとき
・飛行機など動きのあるものに反射してゴーストが引き起こされたとき
・ゴーストの数が多いとき。

●ゴーストの無い地域では、GRT 設定を「切」にしてお使いになることをおすすめします。

●チャンネル合わせ（地域番号）で地域番号を変更したり 66、チャンネル合わせ（マニュアル）でチャンネル設定を変更する 74 とGRT 設定は自動的に「入 1」が設定されます。必要に応じてもう一度設定してください。

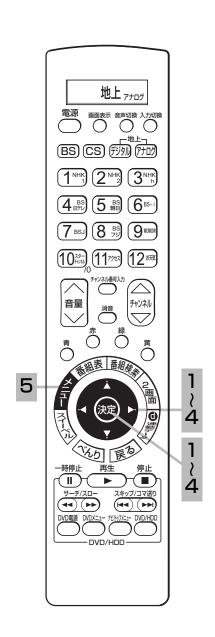
●ゴースト低減された信号をモニター出力端子から出力することはできません。

●ゴーストリダクション機能は、テレビの電源を入れたとき、またはテレビチャンネルを選んだときに働きます。

●ゴーストリダクション機能が働くときに画面がガタつくことがありますが、故障ではありません。

● UHF/VHF アンテナの設置や調整を行うときは、GRT 設定を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。

●ビデオのアンテナ出力を 1ch または 2ch にしてテレビと接続しているときは、そのチャンネルの GRT 設定を「切」にしてください。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 ◯で「受信設定（地上アナログ)」を選び、◯または決定ボタンを押す

2 ◯で「GRT 設定」を選び、◯または決定ボタンを押す

3 ◯で設定したいチャンネルを選び、◯または決定ボタンを押す

4 ◯で設定し、◯または決定ボタンを押す

「切」　：ゴーストリダクション機能は働きません。
「入 1」や「入 2」のときよりも「切」のほうが見やすいときは「切」にしてください。
「入 1」：通常はこの位置で使用します。
お買い上げ時は「入 1」が設定されています。
「入 2」：「入 1」でゴースト低減の効果が小さいときに選びます。

5 設定が終了したらメニューボタンを押し、メニューを消す

※複数のチャンネルを変更する場合 3・4 の操作をくり返す。

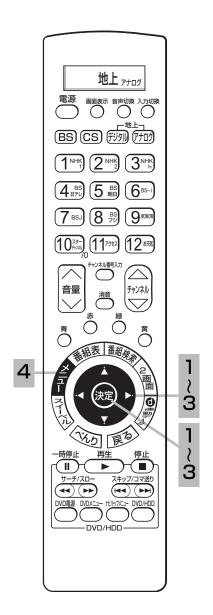
メ　モ

10 キーモード時の GRT 設定について

10 キーモードを選んだ場合 79 も、ワンタッチモードと同じように設定することができます。

地上アナログ（UHF/VHF）放送の受信設定

映像が不安定になるとき（アッテネーターの設定）

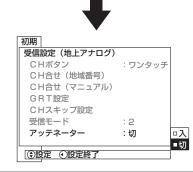
地上アナログ放送時、UHF/VHF アンテナから入る電波が強すぎて、妨害が起こるような場合は、アッテネーターを「入」にします。通常は「切」にしてお使いください。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定（地上アナログ)」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で「アッテネーター」を選び、 または決定ボタンを押し、 で設定する

で「切」または「入」を選ぶ

3 設定が終了したら または決定ボタンを押す

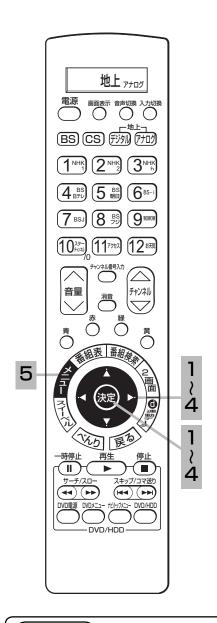
4 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

アッテネーターの設定について

アッテネーターの設定を「入」にすると、地上デジタル放送の受信レベルが低下することがあります。

受信レベルが４５未満になる場合は、正常に受信できなくなる場合がありますので、アッテネーターの設定を「切」にして、ブースター等の出力レベルを調整してください。85

空きチャンネルを飛び越し選局したいとき

本体のチャンネルボタン、リモコンのチャンネルアップ / ダウンボタンで選局するとき、空きチャンネルを自動的に飛び越し (スキップ) して早く選局できます。

例）リモコンの⑧のチャンネルボタンを飛び越したいとき

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定（地上アナログ)」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「CH スキップ設定」を選び、または決定ボタンを押す

3 で設定したいチャンネルを選び、または決定ボタンを押す

4 で設定し、または決定ボタンを押す

5 設定が終了したらメニューボタンを押し、メニューを消す

※複数のチャンネルを変更する場合 3・4 の操作をくり返す。

メ　モ

10 キー方式時の空きチャンネルの飛び越し選局について

10 キー方式を選んだ場合 79 も、ワンタッチ方式 74 と同じように空きチャンネルの飛び越し選局を設定することができます。

ボタン番号 13P ～ 63P について

リモコンのボタンだけでは足りない場合の予備のボタン番号です。13P ～ 63P は、お買上げ時は「スキップする」設定になっています。13P ～ 63P にチャンネルを設定した場合は「スキップしない」に設定してください。77

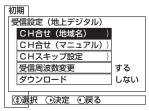
地上デジタル放送の受信設定

地域名によるチャンネルの合わせかた

地上アナログ放送の地域番号 68 ～ 73に近い都道府県名が表示されます。初期スキャンを行わないと、地上デジタル放送は受信できません。
引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合も、初期スキャンを行ってください。
新しく追加された放送局を追加する場合は再スキャンを行なってください。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 (▲▼)で「受信設定（地上デジタル）」を選び、(▶)または決定ボタンを押す

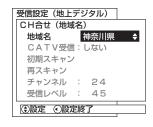
2 (▲▼)で「CH 合せ（地域名)」を選び、(▶)または決定ボタンを押す

3 (▲▼)で「地域名」を選び、(▶)または決定ボタンを押す

地上アナログ放送の地域番号が設定されていない場合、東京都が設定されています。

4 (▲▼)でお住まいの地域を設定し、決定ボタンを押す

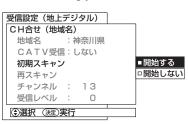
お知らせ

- CH 合せ（地域名）は BS · CS デジタル放送の地域設定を兼用しています。東京都島部、鹿児島県島部を設定する場合は、この地域名から選択してください。
- 初期スキャンを行っていない場合は、再スキャンは実行できません。
- 受信レベルの数値の横に、受信状態を表すコードが表示されることがあります。

5 （上下ボタン）で「CATV 受信」を選び、（右ボタン）または決定ボタンを押す

6 （上下ボタン）で「しない」を選び、（右ボタン）または決定ボタンを押す

「しない」：UHF アンテナを接続しているときに選択します。
「す　る」：CATV（ケーブルテレビ）で同一周波数パススルー方式または周波数変換パススルー方式により地上デジタル放送が伝送されているときに選択します。29

7 （上下ボタン）で「初期スキャン」を選び、（右ボタン）または決定ボタンを押す

8 （上下ボタン）で「開始する」を選び、決定ボタンを押す

全チャンネルを自動でスキャンします。

9 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

- 地上デジタル放送では、CH ボタン（1 ～ 12）の番号に対応した 3 桁のチャンネル番号が付けられています。番組表などには、この 3 桁のチャンネル番号が表示されます。
  1 つの放送局で複数の放送が行われている場合は、この 3 桁のチャンネル番号の下 1 桁が異なります。
- 3 桁のチャンネル番号は、放送地域内では、別の番号になっています。隣接地域の放送局で同じ 3 桁番号になる場合は、放送局を区別するために、さらにもう 1 桁番号が付加されています。（付加される番号を枝番といいます。）
- お住まいの地域で新しく放送が開始された場合、「再スキャン」を選び、受信放送局を追加する必要があります。

メ　モ

地上デジタル放送の受信レベルについて

- 地上デジタル放送の受信レベルは、「受信設定 (地上デジタル)」画面から、「CH 合せ (地域名)」または「CH 合せ (マニュアル)」画面を選択・表示し、「受信レベル」の数値にて確認できます。受信レベルの目安は 45 以上です。
- 受信レベルが 45 未満の場合には、正常に受信できない場合があります。このような場合は、「受信レベル」の数値が最大になるように、地上デジタル受信用アンテナの向きを調整したり、接続状況 (接栓・分配・混合など) やブースター等の調整、アンテナの劣化が無いか等を確認してから、再度初期スキャンを行ってください。28
- 受信レベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信 C/N の換算値 (信号と雑音の比率) で電波の質を表すものであり、強さを表すものではありません。
  ブースター等の調整で、アンテナ信号を過大に増幅した場合、受信レベルが上がらない、または受信レベルが下がる場合があります。

地上デジタル放送の受信設定

〔地域名一覧表〕（2006 年 7 月現在）

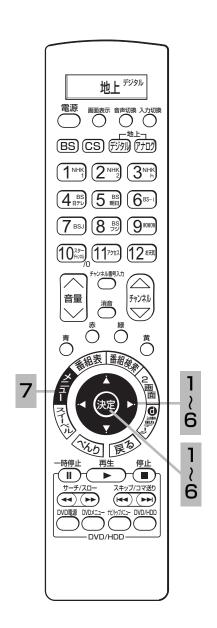
チャンネルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都 道 府 県	受信チャンネル 放 送 局 名											
※区域放送開始前 北海道	011 HBC 北海道放送	021 NHK 教育・札幌	031 NHK 総合・札幌		051 STV 札幌テレビ	061 HTB 北海道テレビ	071 TVH	081 UHB				
※区域放送開始後 北海道（札幌）	011 HBC 札幌	021 NHK 教育・札幌	031 NHK 総合・札幌		051 STV 札幌	061 HTB 札幌	071 TVH 札幌	081 UHB 札幌				
北海道（函館）	011 HBC 函館	021 NHK 教育・函館	031 NHK 総合・函館		051 STV 函館	061 HTB 函館	071 TVH 函館	081 UHB 函館				
北海道（旭川）	011 HBC 旭川	021 NHK 教育・旭川	031 NHK 総合・旭川		051 STV 旭川	061 HTB 旭川	071 TVH 旭川	081 UHB 旭川				
北海道（帯広）	011 HBC 帯広	021 NHK 教育・帯広	031 NHK 総合・帯広		051 STV 帯広	061 HTB 帯広	071 TVH 帯広	081 UHB 帯広				
北海道（釧路）	011 HBC 釧路	021 NHK 教育・釧路	031 NHK 総合・釧路		051 STV 釧路	061 HTB 釧路	071 TVH 釧路	081 UHB 釧路				
北海道（北見）	011 HBC 北見	021 NHK 教育・北見	031 NHK 総合・北見		051 STV 北見	061 HTB 北見	071 TVH 北見	081 UHB 北見				
北海道（室蘭）	011 HBC 室蘭	021 NHK 教育・室蘭	031 NHK 総合・室蘭		051 STV 室蘭	061 HTB 室蘭	071 TVH 室蘭	081 UHB 室蘭				
青森	011 RAB 青森放送	021 NHK 教育・青森	031 NHK 総合・青森		051 青森 朝日放送	061 ATV 青森テレビ						
岩手	011 NHK 総合・盛岡	021 NHK 教育・盛岡		041 テレビ 岩手	051 岩手朝日 テレビ	061 IBC テレビ		081 めんこい テレビ				
宮城	011 TBC テレビ	021 NHK 教育・仙台	031 NHK 総合・仙台	041 ミヤギ テレビ	051 KHB 東日本放送			081 仙台放送				
秋田	011 NHK 総合・秋田	021 NHK 教育・秋田		041 ABS 秋田放送	051 AAB 秋田 朝日放送			081 AKT 秋田テレビ				
山形	011 NHK 総合・山形	021 NHK 教育・山形		041 YBC 山形放送	051 YTS 山形テレビ	061 テレビュー 山形		081 さくらんぼ テレビ				
福島	011 NHK 総合・福島	021 NHK 教育・福島		041 福島中央 テレビ	051 KFB 福島放送	061 テレビュー 福島		081 福島 テレビ				
茨城	011 NHK 総合・水戸	021 NHK 教育・東京		041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
栃木	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京	031 とちぎ テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
群馬	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京	031 群馬 テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
埼玉	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京	031 テレ玉	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
千葉	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京	031 チバ テレビ	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
東京	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京		041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン	091 東京 MX テレビ			121 放送大学
神奈川	011 NHK 総合・東京	021 NHK 教育・東京	031 tvk	041 日本 テレビ	051 テレビ 朝日	061 TBS	071 テレビ 東京	081 フジ テレビジョン				121 放送大学
新潟	011 NHK 総合・新潟	021 NHK 教育・新潟		041 TeNY テレビ新潟	051 新潟 テレビ 21	061 BSN		081 NST				
富山	011 KNB 北日本放送	021 NHK 教育・富山	031 NHK 総合・富山			061 チューリップ テレビ		081 BBT 富山テレビ				
石川	011 NHK 総合・金沢	021 NHK 教育・金沢		041 テレビ 金沢	051 北陸 朝日放送	061 MRO		081 石川 テレビ				
福井	011 NHK 総合・福井	021 NHK 教育・福井					071 FBC テレビ	081 福井 テレビ				

チャンネルボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
都道府県	受信チャンネル 放送局名											
山梨	011 NHK 総合・甲府	021 NHK 教育・甲府		041 YBS 山梨放送		061 UTY						
長野	011 NHK 総合・長野	021 NHK 教育・長野		041 テレビ 信州	051 abn長野 朝日放送	061 SBC 信越放送		081 NBS 長野放送				
岐阜	011 東海 テレビ	021 NHK 教育・名古屋	031 NHK 総合・岐阜	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ～テレ		081 岐阜 テレビ				
愛知	011 東海 テレビ	021 NHK 教育・名古屋	031 NHK 総合・名古屋	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ～テレ				101 テレビ 愛知		
三重	011 東海 テレビ	021 NHK 教育・名古屋	031 NHK 総合・津	041 中京 テレビ	051 CBC	061 メ～テレ	071 三重 テレビ					
静岡	011 NHK 総合・静岡	021 NHK 教育・静岡		041 静岡第一 テレビ	051 静岡朝日 テレビ	061 SBS		081 テレビ 静岡				
滋賀	011 NHK 総合・大津	021 NHK 教育・大阪	031 BBC びわこ放送	041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
京都	011 NHK 総合・京都	021 NHK 教育・大阪		041 MBS 毎日放送	051 KBS 京都	061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
大阪	011 NHK 総合・大阪	021 NHK 教育・大阪		041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ	071 テレビ 大阪	081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
兵庫	011 NHK 総合・神戸	021 NHK 教育・大阪	031 サン テレビ	041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
奈良	011 NHK 総合・奈良	021 NHK 教育・大阪		041 MBS 毎日放送		061 ABC テレビ		081 関西 テレビ	091 奈良 テレビ	101 よみうり テレビ		
和歌山	011 NHK 総合・和歌山	021 NHK 教育・大阪		041 MBS 毎日放送	051 テレビ 和歌山	061 ABC テレビ		081 関西 テレビ		101 よみうり テレビ		
鳥取	011 日本海 テレビ	021 NHK 教育・鳥取	031 NHK 総合・鳥取			061 BSS テレビ		081 山陰中央 テレビ				
島根	011 日本海 テレビ	021 NHK 教育・松江	031 NHK 総合・松江			061 BSS テレビ		081 山陰中央 テレビ				
岡山	011 NHK 総合・岡山	021 NHK 教育・岡山		041 RNC 西日本テレビ	051 KSB 瀬戸内海放送	061 RSK テレビ	071 テレビ せとうち	081 OHK テレビ				
香川	011 NHK 総合・高松	021 NHK 教育・高松		041 RNC 西日本テレビ	051 KSB 瀬戸内海放送	061 RSK テレビ	071 テレビ せとうち	081 OHK テレビ				
広島	011 NHK 総合・広島	021 NHK 教育・広島	031 RCC テレビ	041 広島 テレビ	051 広島 ホームテレビ			081 TSS				
山口	011 NHK 総合・山口	021 NHK 教育・山口	031 TYS テレビ山口	041 KRY 山口放送	051 YAB 山口朝日							
徳島	011 四国放送	021 NHK 教育・徳島	031 NHK 総合・徳島									
愛媛	011 NHK 総合・松山	021 NHK 教育・松山		041 南海放送	051 愛媛朝日	061 あい テレビ		081 テレビ 愛媛				
高知	011 NHK 総合・高知	021 NHK 教育・高知		041 高知放送		061 テレビ 高知		081 さんさん テレビ				
福岡	011 KBC 九州 朝日放送	021 NHK 教育・福岡	031 NHK 総合・福岡	041 RKB 毎日放送	051 FBS 福岡放送		071 TVQ 九州放送	081 TNC テレビ西日本	021、031 は、NHK 教育・北九州、NHK 総合・北九州が設定されることがあります。			
佐賀	011 NHK 総合・佐賀	021 NHK 教育・佐賀	031 STS サガテレビ									
長崎	011 NHK 総合・長崎	021 NHK 教育・長崎	031 NBC 長崎放送	041 NIB 長崎 国際テレビ	051 NCC 長崎 文化放送			081 KTN テレビ長崎				
熊本	011 NHK 総合・熊本	021 NHK 教育・熊本	031 RKK 熊本放送	041 KKT くまもと県民	051 KAB 熊本 朝日放送			081 TKU テレビ熊本				
大分	011 NHK 総合・大分	021 NHK 教育・大分	031 OBS 大分放送	041 TOS テレビ大分	051 OAB 大分 朝日放送							
宮崎	011 NHK 総合・宮崎	021 NHK 教育・宮崎	031 UMK テレビ宮崎			061 MRT 宮崎放送						
鹿児島	011 MBC 南日本放送	021 NHK 教育・鹿児島	031 NHK 総合・鹿児島	041 KYT 鹿児島 読売 TV	051 KKB 鹿児島放送			081 KTS 鹿児島テレビ				
沖縄	011 NHK 総合・那覇	021 NHK 教育・那覇	031 RBC テレビ		051 QAB 琉球 朝日放送			081 沖縄テレビ (OTV)				

地上デジタル放送の受信設定

マニュアルで CH ボタンの登録を変更する

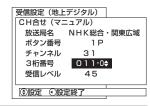
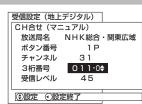
1 ～ 12 のボタンに設定されているチャンネルの登録をお好みの設定に変更することができます。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定（地上デジタル）」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「CH 合せ (マニュアル)」を選び、または決定ボタンを押す

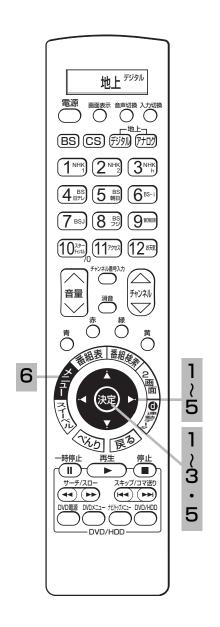
3 で「ボタン番号」を選び、または決定ボタンを押す

4 で登録を変えたいボタン番号を選び、または決定ボタンを押す

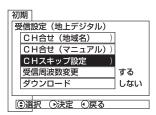
5 で「チャンネル」または「3 桁番号」を選び、または決定ボタンを押す

6 で登録したいチャンネルまたは 3 桁番号を選び、または決定ボタンを押す

- 設定内容が変更された場合、確認画面が表示されます。設定を変更するときは「はい」、変更しないときは「いいえ」を選び、決定ボタンを押してください。
- すでに受信設定済みのチャンネルまたは 3 桁番号を選ぶことができます。

7 メニューボタンを押し、メニューを消す

チャンネルを飛び越し選局したいとき

本体のチャンネルボタン、リモコンのチャンネルアップ / ダウンボタンで選局するとき、チャンネルを自動的に飛び越し (スキップ) して早く選局できます。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定（地上デジタル)」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で「CH スキップ設定」を選び、 または決定ボタンを押す

3 で設定したいチャンネル（3 桁番号）を選び、 または決定ボタンを押す

4 で設定する

5 設定が終了したら または決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押し、メニューを消す

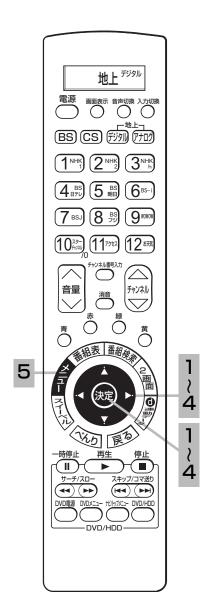
お知らせ

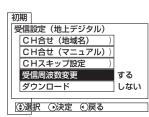
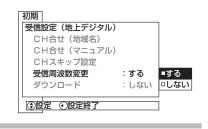
複数のチャンネルを変更する場合、青ボタンを押すと、範囲を指定して設定を変更することができます。

地上デジタル放送の受信設定

受信周波数変更を設定する

お買い上げ時は、「する」に設定されています。
通常は、この設定でご使用ください。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定（地上デジタル）」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で「受信周波数変更」を選び、 または決定ボタンを押す

3 で「する」を選ぶ

4 設定が終了したら または決定ボタンを押す

5 メニューボタンを押し、メニューを消す

メ モ

放送局から送信される周波数のみが変更された場合に、自動的に受信する周波数を変更するものです。

ダウンロード設定を変更する

ダウンロード機能とは、地上デジタル放送を受信して、ダウンロードデータを本機に取り込む（ダウンロードする）ことにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。
ダウンロードは、リモコン電源オフ（スタンバイ）のときに自動的に行われます。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

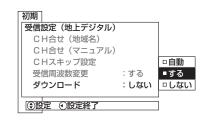
1 で「受信設定（地上デジタル）」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「ダウンロード」を選び、または決定ボタンを押す

3 で「する」を選び、決定ボタンを押す

自動	ダウンロード情報が届くと、電源オフ状態のときに自動的にダウンロードを行います。
する	ダウンロード情報が届くと、メールにて「ご連絡」として予定をお知らせします。予定時刻に電源オフ状態ならば、自動的にダウンロードを行います。
しない	ダウンロード情報をメールにて「ご連絡」として予定をお知らせします。ダウンロードする場合は、設定を「自動」または「する」に変更してください。

4 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

5 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

お買い上げ時は、「自動」に設定されています。通常は、この設定でご使用ください。

BS・CS デジタル放送の受信設定

マニュアルで CH ボタンの登録を変更する

1 ～ 12 のボタンに設定されているチャンネルの登録をお好みの設定に変更することができます。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定（BS・CS)」を選び、または決定ボタンを押す

2 例：「CH 合せ（BS)」を選んだとき

で「CH 合せ（BS)」を選び、または決定ボタンを押す

CS デジタルの放送を変更する場合は、「CH 合せ（CS)」を選びます。

3 で「ボタン番号」を選び、または決定ボタンを押す

4 で登録を変えたいボタン番号を選び、または決定ボタンを押す

5 で「チャンネル番号」を選び、または決定ボタンを押す

6 で登録したいチャンネルを選び、または決定ボタンを押す

●設定内容が変更された場合、確認画面が表示されます。設定を変更するときは「はい」、変更しないときは「いいえ」を選び、決定ボタンを押してください。
●すでに受信設定済みのチャンネル番号を選ぶことができます。

7 メニューボタンを押し、メニューを消す

メ　モ

BS・CSデジタル放送の受信レベルについて

● BS･CSデジタル放送の受信レベルは、「受信設定(BS･CS)」画面から、「CH合せ(BS)」または「CH合せ(CS)」画面を選択・表示し、「受信レベル」の数値にて確認できます。受信レベルの目安は50以上ですが、BS・CSデジタル放送は天候の影響を受けやすく、天候悪化時に受信レベルが低下する場合があります。できるだけ安定して受信するためには、晴天時で50台後半～60前後を目安にしてください。
●受信レベルが50未満の場合には、正常に受信できない場合があります。このような場合は、「受信レベル」の数値が最大になるように、BS・CSデジタル受信用アンテナの向き(仰角･方位角)を調整したり、接続状況(接栓・分配・混合など)やアンテナの劣化が無いか等を確認してください。30
●受信レベルは、アンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、受信C/Nの換算値(信号と雑音の比率)で電波の質を表すものであり、強さを表すものではありません。
アンテナ信号を過大に増幅した場合、受信レベルが上がらない、または受信レベルが下がる場合があります。

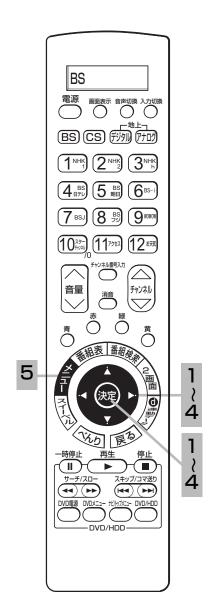
お知らせ

アンテナの仰角、方位角の調整方法は110度CS対応BSデジタルアンテナの取扱説明書をご覧ください。

BS・CS デジタル放送の受信設定

チャンネルを飛び越し選局したいとき

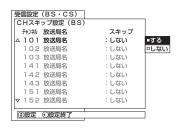
本体のチャンネルボタン、リモコンのチャンネルアップ / ダウンボタンで選局するとき、チャンネルを自動的に飛び越し (スキップ) して早く選局できます。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定（BS・CS)」を選び、または決定ボタンを押す

2 例：「CH スキップ設定（BS)」を選んだとき

で「CH スキップ設定 (BS)」を選び、 または決定ボタンを押す

CS デジタル放送の設定を変更する場合は、「CH スキップ設定（CS)」を選びます。

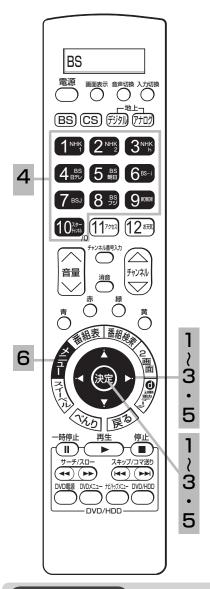
3 で設定したいチャンネルを選び、または決定ボタンを押す

4 で設定し、または決定ボタンを押す

5 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

複数のチャンネルを変更する場合、青ボタンを押すと、範囲を指定して設定を変更することができます。

受信設定を変更する

衛星周波数の変更と、各トランスポンダーの受信レベルを確認することができます。
通常は衛星周波数の変更を行う必要はありません。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定（BS・CS)」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「受信設定変更」を選び、または決定ボタンを押す

受信設定変更画面が表示されます。

3 で「衛星周波数」を選び、または決定ボタンを押す

4 設定する周波数を数字ボタンで押す

5 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押し、メニューを消す

お守りください

受信設定について

衛星の故障などによって、受信する周波数を変更する必要がある場合に行います。放送から変更の指示がないときは行わないでください。

お知らせ

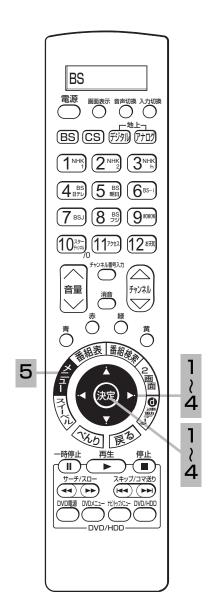
各トランスポンダーの受信レベルを確認する場合は､「トランスポンダー」を選び、決定ボタンを押します。

ボタンで確認するトランスポンダーを選んでください。

確認が終わったら戻るボタンを押します。

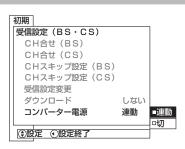
BS・CS デジタル放送の受信設定

アンテナの設定を変更する

本機からアンテナのコンバーターへの、電源の供給を設定します。
お買上げ時は「連動」に設定されています。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 ◯で「受信設定（BS・CS)」を選び、◯または決定ボタンを押す

2 ◯で「コンバーター電源」を選び、◯または決定ボタンを押す

3 ◯で設定する

連動	個別にアンテナを設置して受信する場合はこの設定でご使用ください。アンテナのコンバーターへ電源が供給されます。
切	マンション共聴などで本機以外の機器から電源供給をする場合に設定してください。

4 設定が終了したら◯または決定ボタンを押す

5 メニューボタンを押し、メニューを消す

お守りください

コンバーター電源についてのご注意

共聴受信などで視聴されるとき（電源供給を必要としないとき）は、コンバーター電源の設定を必ず「切」にしてください。

お知らせ

アンテナの仰角、方位角の調整方法は、110度CS対応BSデジタルアンテナの取扱説明書をご覧ください。

ダウンロード設定を変更する

ダウンロード機能とは、衛星から送られてきたダウンロードデータを本機に取り込む（ダウンロードする）ことにより、本機自体の制御プログラムを書き換える機能です。
ダウンロードは、リモコン電源オフ（スタンバイ）のときに自動的に行われます。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「受信設定（BS・CS)」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で「ダウンロード」を選び、 または決定ボタンを押す

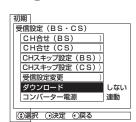
3 で「する」を選び、決定ボタンを押す

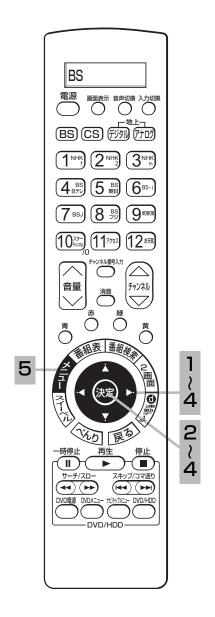
自動	ダウンロード情報が届くと、電源オフ状態のときに自動的にダウンロードを行います。
する	ダウンロード情報が届くと、メールにて「ご連絡」として予定をお知らせします。予定時刻に電源オフ状態ならば、自動的にダウンロードを行います。
しない	ダウンロード情報をメールにて「ご連絡」として予定をお知らせします。ダウンロードする場合は、設定を「自動」または「する」に変更してください。

4 設定が終了したら または決定ボタンを押す

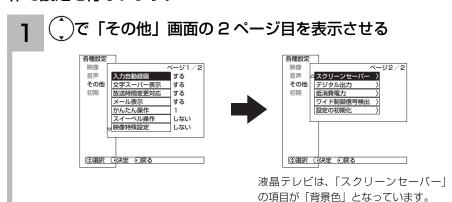
5 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

お買い上げ時は、「自動」に設定されています。通常は、この設定でご使用ください。

登録データや受信設定などを初期化したいとき

本機を他人に譲渡したり、廃棄するときは、個人宛のメール、データ放送で登録した個人情報や本機の設定情報を消去してください。

52の操作で「各種設定」の「その他」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で「その他」画面の 2 ページ目を表示させる

液晶テレビは、「スクリーンセーバー」の項目が「背景色」となっています。

2 で「設定の初期化」を選び、または決定ボタンを押す

3 で初期化する項目を選び、または決定ボタンを押す

データ放送	登録されているお客様の個人情報を消去します。
受信メール	お客様宛てに送信されたメールを消去します。 メールの内容によっては消去されない場合があります。
受信設定	各種設定の「初期」に含まれているデジタル放送関連の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

4 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

再度確認画面が表示されますので「はい」を選び、決定ボタンを押すと情報が消去されます。

5 メニューボタンを押し、メニューを消す

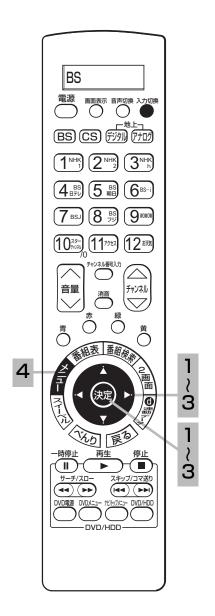
接続した外部機器を設定する

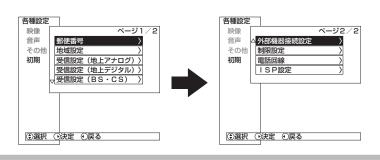
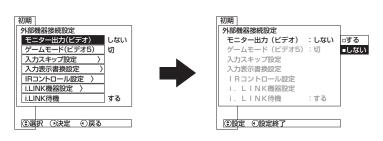
外部機器と接続したときの設定

モニター出力やゲームモードを設定する

ご使用になる外部機器や接続方法に合わせて設定することができます。

モニター出力（ビデオ）……… ビデオ入力端子に接続した映像および音声をモニター出力端子から出力したいときに設定します。ビデオ 1, 2, 4, 5 入力端子ごとに設定することができます。**事前に入力切換ボタンで設定したいビデオ入力を選択してから設定してください。**

ゲームモード（ビデオ 5）…… 本機の左側面のビデオ 5 入力端子に接続したテレビゲームの映像を選んだときの映像モードを自動的に選択します。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で２ページ目を表示し、で「外部機器接続設定」を選び、または決定ボタンを押す

2 で設定したい項目を選ぶ

設定項目	する/しない選択	設定のポイント
モニター出力（ビデオ）	する / しない	ビデオ入力の映像と音声をモニター出力端子から出力するときは「する」を選択します。お買上げ時は、ビデオ 1 が「しない」に設定されています。
ゲームモード（ビデオ 5）	切 / 入	ビデオ５に切り換えると､映像モードを「スタンダード」にします。(「入」設定時)（②操作編 52）

3 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

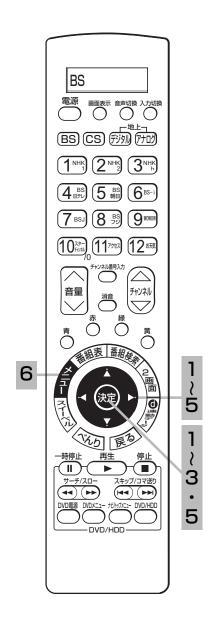
4 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

1 台のビデオに本機の「デジタル / モニター出力」と「モニター出力（ビデオ）: する」設定した「ビデオ入力」を同時に接続すると、発振によるノイズが生じることがあります。このような接続の場合は、「しない」に設定してください。

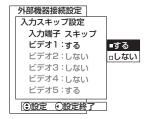
接続のない入力端子をスキップ設定する

入力切換ボタンを押したときに、空いている入力端子を飛び越して、はやく画面を切り換えることができます。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で２ページ目を表示し、で「外部機器接続設定」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「入力スキップ設定」を選び、または決定ボタンを押す

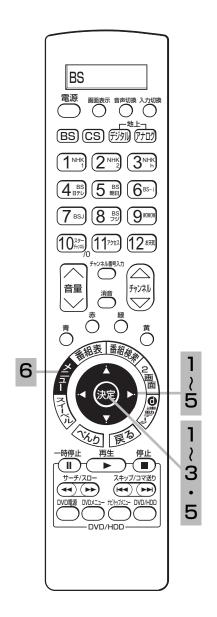
3 で入力スキップしたいビデオ入力端子を選び、または決定ボタンを押す

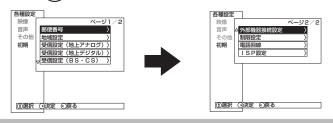
4 で「する」を選び、または決定ボタンを押す

5 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押し、メニューを消す

外部機器と接続したときの設定

画面表示の機器名を変更する

入力切換や画面表示ボタンを押したときなどに、ビデオ入力端子に接続した外部機器名を表示させることができます。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で２ページ目を表示し、 で「外部機器接続設定」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で「入力表示書換設定」を選び、 または決定ボタンを押す

3 で入力表示を書き換えたいビデオを選び、 または決定ボタンを押す

4 でお好みの種類を選び、 または決定ボタンを押す

5 設定が終了したら または決定ボタンを押す

6 メニューボタンを押し、メニューを消す

お知らせ

- IR コントロール設定画面で外部機器を設定すると、入力表示書換設定の表示も自動的に書き換えられます。
（入力表示書換設定を変更しても、IR コントロール設定の外部機器は変更されません。）
- 外部機器名「HDD」および「ゲーム」は、IR コントロール設定の外部機器設定 103では設定できません。

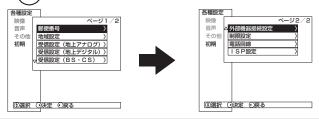
IR コントローラーを設定する

付属の IR コントローラーを使用すると、外部機器を操作したり、本機と接続した録画機器で録画するための予約ができます。
47 に記載の IR コントローラーを正しく接続、設置し、下記の設定とテストを行ってください。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

例）ビデオ 4 に DVD ＋ HDD レコーダー（日立）を設定したいとき

外部機器を設定する

1 で２ページ目を表示し、で「外部機器接続設定」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「IR コントロール設定」を選び、または決定ボタンを押す

3 で「入力端子」の項目を選び、で設定したいビデオ入力を選ぶ

入力端子「テレビ / ビデオ」は、テレビ（地上アナログ、地上デジタル、BS、CS）とビデオ入力で共通になっていることを意味します。

4 で「外部機器」の項目を選び、で接続する外部機器を設定する

を押すたびに次のように切り換わります。

外部機器接続設定
メディア操作設定

入力端子	外部機器	メーカー	録画	テスト
ビデオ1	VTR1	日立1	☑	送信
ビデオ2	VTR2	日立2	☐	送信
ビデオ3	–	–		
ビデオ4	DVDR+HDD	–		
ビデオ5	–	–		
ﾃﾚﾋﾞ/ﾋﾞﾃﾞｵ	AVアンプ	デノン		送信

項目選択 設定

〔ビデオ 1 ～ 5 のとき〕

– ⟷ VTR1 ⟷ VTR2 ⟷ VTR1+DVD ⟷ VTR2+DVD ⟷ CATV ⟷ DVDR+VTR ⟷ DVDR+HDD ⟷ DVDR ⟷ DVD ⟷ CSデジタル

〔テレビ / ビデオ共通〕

– ⟷ AVアンプ

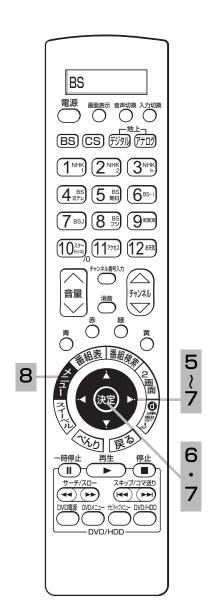
設定を解除するときは「–」を選択します。

お知らせ

- ビデオ内蔵テレビの場合、本機からのリモコン信号で操作できない場合があります。
- 表に記載しているメーカーの外部機器であっても、機器によっては対応できない場合があります。
- 入力自動録画の設定 (②操作編 89) が「する」になっているときは、本機と接続した録画機器を IR コントロールにより、予約録画することはできません。
- 手順 4 で外部機器を設定すると、入力表示書換設定 102 も同じ機器名が自動的に設定されます。

(次ページにつづく)

外部機器と接続したときの設定

IR コントローラーを設定する（つづき）

メーカーを設定する

5 ◀▶で「メーカー」の項目を選び、▲▼で外部機器のメーカーを設定する

▲▼を押すたびにメーカー名が切り換わります。

メーカーには「日立 1」〜「日立 7」などのように複数の番号が付いているものがあります。番号の数は機器やメーカーによって異なります。

手順 7 のテストを「日立 1」から順に行い、正しく動作するものを選んでください。

- ●外部機器の対応メーカーは、下記の一覧表を参考にしてください。表に記載しているメーカーでも対応できない機種があります。
- ●「外部機器」の項目を設定していない場合は、「メーカー」を設定することはできません。先に「外部機器」を設定してください。また、「外部機器」の項目を変更したときは、「メーカー」の設定もクリアされます。

対応メーカー一覧(2006 年 3 月現在)

外部機器	対応メーカー
VTR1/2	日立、三菱、松下、日本ビクター、ソニー、東芝、シャープ、サンヨー、NEC、富士通ゼネラル、フナイ
VTR1/2+DVD プレーヤー（VTR1/2+DVD）	日立、三菱、松下、日本ビクター、ソニー、東芝、サンヨー、フナイ
CATV ホームターミナル（アナログチューナーのみ）	日立、松下、東芝、NEC、パイオニア、富士通、SA（サンエンティフィック・アトランタ）、DX アンテナ
CS デジタルチューナー	日立、松下、日本ビクター、ソニー、東芝
DVD プレーヤー	日立、松下、日本ビクター、ソニー、東芝、パイオニア
DVD レコーダー（DVDR）	日立、松下、東芝、パイオニア
DVD+HDD レコーダー（DVDR+HDD）	日立、松下、東芝、パイオニア、ソニー、日本ビクター、シャープ
VTR 一体型 DVD レコーダー（DVDR ＋ VTR）	日立
AV アンプ	デノン、ヤマハ、パイオニア

録画機器を設定する

IR コントローラーを使用して録画機器で録画する場合に設定します。

6 ◯で設定する録画機器を選び、◯で「録画」の項目を選んで、決定ボタンを押す

「録画」の項目にチェックマーク「✓」が設定されていることを確認します。

●103の手順で最初に登録した録画機器には自動的にチェックマーク「✓」が設定されます。
●外部機器が録画機器でない場合（CATV/CS デジタル /DVD/AV アンプ）は、「録画」の項目は表示されません。
●録画機器は 1 台のみに設定することができます。

テスト

7 ◯で「テスト」項目の送信を選び、決定ボタンを押す

送信前に外部機器の電源を切っておきます。

外部機器接続設定
メディア操作設定

入力端子	外部機器	メーカー	録画	テスト
ビデオ1	VTR1	日立1	□	送信
ビデオ2	VTR2	日立2	□	送信
ビデオ3	–	–		
ビデオ4	DVDR+HDD	日立1	☑	送信
ビデオ5	–	–		
テレビ/ビデオ	AVアンプ	デノン		送信

外部機器の電源が入ることを確認して下さい
項目選択 決定 テスト送信

「テスト」項目の送信を選ぶと「外部機器の電源が入ることを確認してください」のメッセージが表示されます。決定ボタンを押すと IR コントローラーから信号が 1 回送信されますので、外部機器の電源が入ることを確認してください。

8 正しく設定されたらメニューボタンを押して、メニューを消す

お守りください

● IR コントローラーを使用して録画機器に録画予約する場合は、録画機器の入力を本機のモニター出力を接続した外部入力に切り換えた状態で電源を切ってください。
● VTR+DVD や DVD+HDD などの複合機器をお使いの場合、かんたん操作を表示したときは、はじめに、かんたん操作画面上の切換ボタン（VTR/DVD 切換など）を押し、機器に合わせたうえでお使いください。
●手順 7 で送信やテストを行うときは、リモコンの決定ボタンを長押ししないでください。リモコンの決定ボタンを長押しすると、リモコンと IR コントローラーのリモコン信号が干渉して正しく動作しないことがあります。また、テスト中は他の機器のリモコン操作も行わないでください。

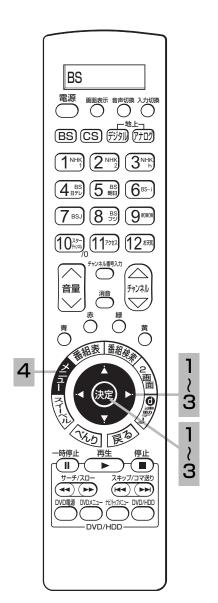
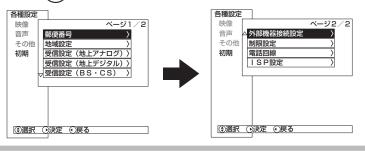
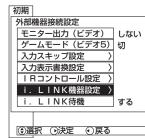
お知らせ

●手順 5、6、7 で電源が入らないときは、IR コントローラーの取り付け場所を変えて行ってみてください。何度かくり返しても電源が入らない場合は、対応できない機器と思われますので、「メーカー」の設定を「－」にして終了してください。入力自動録画に対応した外部録画機器をご使用の場合は「モニター出力に連動して録画する」（②操作編 89）をご覧ください。
●かんたん操作画面で操作中、接続した外部機器の映像の状態により操作画面が消えることがあります。

外部機器と接続したときの設定

i.LINK 対応の機器を登録する

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で２ページ目を表示し、 で「外部機器接続設定」を選び、 または決定ボタンを押す

2 で「i.LINK 機器設定」を選び、 または決定ボタンを押す

3 で登録する機器を選び、決定ボタンを押す

操作パネルに登録されます。

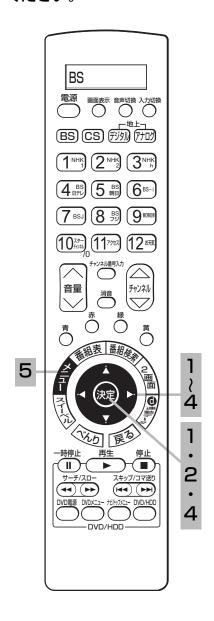
- 操作パネルに登録されている機器は「操作」が「する」に表示されます。登録解除された機器は「しない」になります。登録されていて、接続されていない機器は「不可」になります。
- 登録されている機器を選び、決定ボタンを押すと、登録が解除されます。
- ３台登録されているときは、４台目は登録できません。登録されている機器のいずれか１台を、「しない」にして解除すれば登録できます。
- 表示されている機器は全削除のみ可能です。削除するときは、i.LINK ケーブルを本機から抜いた状態にして、赤ボタンを押します。

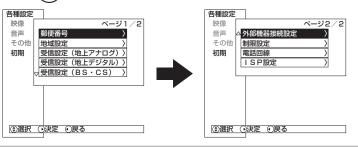
4 メニューボタンを押し、メニューを消す

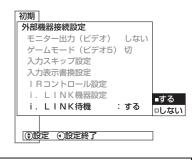
お知らせ

- メーカー名や機種名が表示されないときや正しく接続できないときは、i.LINK ケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続した機器によってはメーカー名や機種名を表示できないときがあります。
- リンクしている機器は登録解除できません。
- DV 方式デジタルビデオカメラ以外の機器は DVHS ＊と表示されます。
- 機器設定に表示される D-VHS ビデオデッキは８台までです。

i.LINK 待機時の設定を変更する

本機では電源オフのとき、i.LINK の接続機器からの制御を受け付ける設定が選べます。
i.LINK 対応機器を接続していない場合は、消費電力が少なくなるように「しない」に設定してください。

52の操作で「各種設定」の「初期」画面を表示し、次の操作で設定を行ないます。

1 で２ページ目を表示し、で「外部機器接続設定」を選び、または決定ボタンを押す

2 で「i.LINK 待機」を選び、または決定ボタンを押す

3 で「する」を選ぶ

す　る	リモコンで電源オフにすると、映像・音声などの信号は停止しますが、i.LINK 接続された機器からの制御を受け付けることができます。
しない	電源オフにすると、映像・音声などの信号は停止し、i.LINK 接続された機器からの制御はできません。

お買い上げ時は「しない」に設定されています。

4 設定が終了したらまたは決定ボタンを押す

5 メニューボタンを押し、メニューを消す

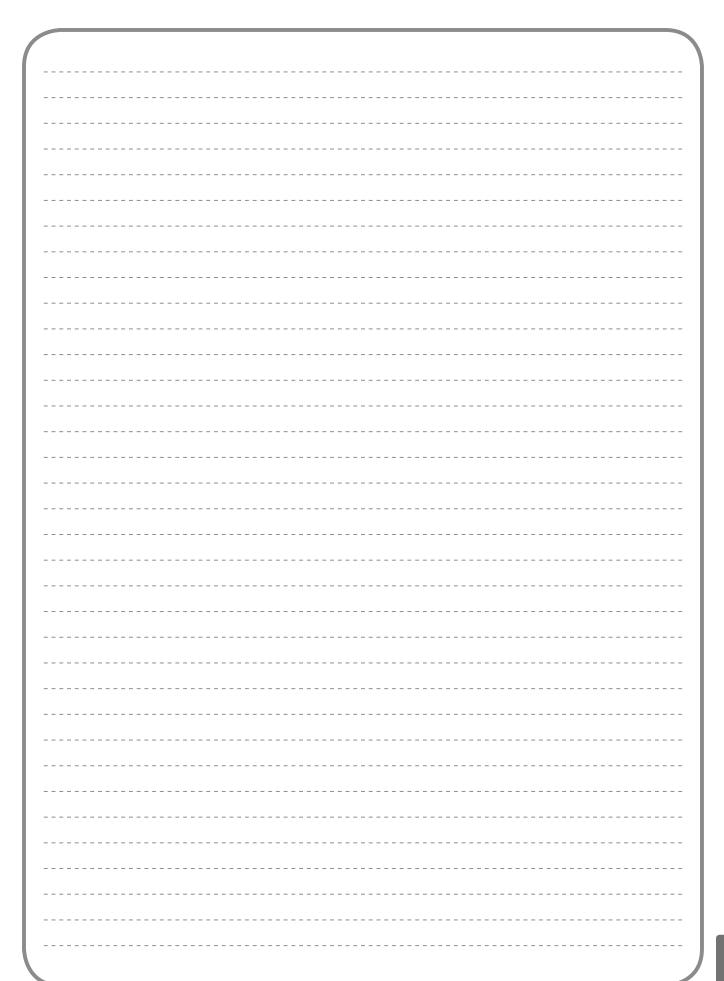
パワーセービングシステムについて

パワーセービングとは、ビデオの入力信号が無くなったことを検知して、自動的にテレビの消費電力を節約する省電力機能です。

パワーセービング状態は、電源のスタンバイ／受像ランプで確認できます。

パワーセービングシステム	入　力	スタンバイ／受像ランプ	テレビの状態	内　容	お知らせ
ビデオパワーセーブ	ビデオ入力端子	緑色	オン状態	通常のビデオ入力の画面が表示されています。	メニューの設定でパワーセーブにならない様にすることも可能です。(②操作編 68)
		橙色	パワーセーブ状態	ビデオ入力の信号が無い状態が約 10 秒続くとこの状態になります。	

メ　モ

スタンバイ／受像ランプが橙色に変わる前に、テレビの画面に「パワーセーブ」の表示が 5 秒間表示されます。

仕　様

プラズマテレビの仕様

形　名		W37P-H9000	W42P-H9000
受信機型サイズ		37V	42V
区分名		CB	CB
パネル	パ ネ ル	37 形（ALIS 方式） プラズマディスプレイパネル（16：9）	42 形（ALIS 方式） プラズマディスプレイパネル（16：9）
	表示画素数	水平 1024 ×垂直 1080	水平 1024 ×垂直 1080
表示寸法		幅 81.4 ×高さ 44.8/ 対角 93（cm）	幅 92.2 ×高さ 52.4/ 対角 106.0（cm）
音声実用最大出力		36W（総合）（JEITA）	36W（総合）（JEITA）
スピーカー		（16cm × 3.5cm, 2cm) × 2 (6.6cm) × 2	（16cm × 3.5cm, 2cm) × 2 (5.5cm × 10cm) × 2
電　源		AC100V 50/60Hz 共用	
動作保証温度		5 ～ 35℃	
消費電力		294W	345W
		待機時 0.5W （「i.LINK 待機」が「する」に設定されているとき、ダウンロードや番組情報を受信しているときなどは、約 50W)	
年間消費電力量		238kWh/ 年 (映像モード：スタンダード時)	292kWh/ 年 (映像モード：スタンダード時)
受信チャンネル		VHF1ch ～ 12ch,UHF13ch ～ 62ch,CATV(C13 ～ C63), 地上デジタル 000 ～ 999ch, BS デジタル 000 ～ 999ch,110 度 CS デジタル 000 ～ 999ch（右旋円偏波）	
端　子		ビデオ 1　映像入力端子 ……1 個 ビデオ 1　音声入力端子 (右)(左) ……1 個 ビデオ 1　S2 映像入力端子 ……1 個 ビデオ 2　映像入力端子 ……1 個 ビデオ 2　音声入力端子 (右)(左) ……1 個 ビデオ 2　S2 映像入力端子 ……1 個 ビデオ 3　映像入力端子（D4 映像） ……1 個 ビデオ 3　音声入力端子 (右)(左) ……1 個 ビデオ 4　映像入力端子 ……1 個 ビデオ 4　映像入力端子（D4 映像） ……1 個 ビデオ 4　音声入力端子 (右)(左) ……1 個 ビデオ 5　映像入力端子 ……1 個 ビデオ 5　音声入力端子 (右)(左) ……1 個 ビデオ 5　S2 映像入力端子 ……1 個 HDMI 入力端子 ……2 個	モニター映像出力端子 ……1 個 モニター音声出力端子 (右)(左) ……1 個 モニター S2 映像出力端子 ……1 個 i.LINK 端子（DV 端子兼用） ……1 個 光デジタル音声出力端子 ……1 個 電話回線接続端子 ……1 個 ヘッドホン端子 ……1 個 IR コントローラー端子……2 個 UHF/VHF 混合アンテナ端子……1 個 （地上デジタル放送は、CATV パススルー対応) BS/CS-IF 入力端子 ……1 個 LAN 端子（10BASE-T/100BASE-TX）1 個 拡張端子 ……1 個 サブウーハー出力端子 ……1 個
外形寸法	スタンド無し	幅 104.9 ×高さ 56.6 ×奥行 10.3（11.3）(cm)	幅 113.4 ×高さ 64.8 ×奥行 9.9（10.9）(cm)
	スタンド付き	幅 104.9 ×高さ 63.1 ×奥行 36.5（cm）	幅 113.4 ×高さ 71.3 ×奥行 36.5（cm）
質　量	スタンド無し	28.7kg	34.0kg
	スタンド付き	34.6kg	39.9kg
付属品		リモコン送信機 …… 1 個 単 3 形乾電池 …… 2 個 電源コード（1.8m） …… 1 本	取扱説明書 …… 2 冊 (準備編・操作編　各 1 冊) クリーニングクロス …… 1 個 他詳細は 2 を参照してください。

●本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
●「区分名」とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律 (省エネ法)」では、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び、付加機能の有無等に基づいた区分を行なっており、その区分名称を言います。
●「年間消費電力量」とは、省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、1 年間に使用する電力量です。
●この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
●本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

液晶テレビの仕様

形　　　名		W37L-H9000	W32L-H9000
受信機型サイズ		37V	32V
区分名		BFF	BFF
パネル	パ　ネ　ル	37形 液晶ディスプレイパネル（16：9）	32形 液晶ディスプレイパネル（16：9）
	表示画素数	水平 1366 ×垂直 768	水平 1366 ×垂直 768
表　示　寸　法		幅 82 ×高さ 46.1/ 対角 94.1（cm）	幅 69.8 ×高さ 39.2/ 対角 80.1（cm）
音声実用最大出力		20W（総合）（JEITA）	20W（総合）（JEITA）
ス ピ ー カ ー		(6cm × 12cm) × 2	(6.5cm × 9cm ， 6.5cm) × 2
電　　　源		AC100V 50/60Hz 共用	
動作保証温度		5 ～ 35℃	
消　費　電　力		178W	158W
		待機時 0.5W （「i.LINK 待機」が「する」に設定されているとき、ダウンロードや番組情報を受信しているときなどは、約 50W ）	
年間消費電力量		171kWh/ 年 (映像モード：スタンダード時)	144kWh/ 年 (映像モード：スタンダード時)
受信チャンネル		VHF1ch ～ 12ch,UHF13ch ～ 62ch,CATV(C13 ～ C63), 地上デジタル 000 ～ 999ch, BS デジタル 000 ～ 999ch,110 度 CS デジタル 000 ～ 999ch（右旋円偏波）	
端　　　子		ビデオ 1　映像入力端子 ……1 個 ビデオ 1　音声入力端子 (右)(左) ……1 個 ビデオ 1　S2 映像入力端子 ……1 個 ビデオ 2　映像入力端子 ……1 個 ビデオ 2　音声入力端子 (右)(左) ……1 個 ビデオ 2　S2 映像入力端子 ……1 個 ビデオ 3　映像入力端子（D4 映像） ……1 個 ビデオ 3　音声入力端子 (右)(左) ……1 個 ビデオ 4　映像入力端子 ……1 個 ビデオ 4　映像入力端子（D4 映像） ……1 個 ビデオ 4　音声入力端子 (右)(左) ……1 個 ビデオ 5　映像入力端子 ……1 個 ビデオ 5　音声入力端子 (右)(左) ……1 個 ビデオ 5　S2 映像入力端子 ……1 個 HDMI 入力端子 ……2 個	モニター映像出力端子 ……1 個 モニター音声出力端子 (右)(左) ……1 個 モニター S2 映像出力端子 ……1 個 i.LINK 端子（DV 端子兼用） ……1 個 光デジタル音声出力端子 ……1 個 電話回線接続端子 ……1 個 ヘッドホン端子 ……1 個 IR コントローラー端子……2 個 UHF/VHF 混合アンテナ端子……1 個 (地上デジタル放送は、CATV パススルー対応) BS/CS-IF 入力端子 ……1 個 LAN 端子（10BASE-T/100BASE-TX） 1 個 拡張端子 ……1 個 サブウーハー出力端子 ……1 個
外形寸法	スタンド無し	幅 94.9 ×高さ 66.4 ×奥行 12.1（cm）	幅 82.2 ×高さ 59.1 ×奥行 11.5（cm）
	スタンド付き	幅 94.9 ×高さ 72.6 ×奥行 36.5（cm）	幅 82.2 ×高さ 65.3 ×奥行 36.5（cm）
質　　量	スタンド無し	23.8kg	20.2kg
	スタンド付き	29.7kg	26.1kg
付　属　品		リモコン送信機 …… 1 個 単 3 形乾電池 …… 2 個 電源コード（1.8m） …… 1 本	取扱説明書 …… 2 冊 （準備編・操作編　各 1 冊） 他詳細は 2 を参照してください。

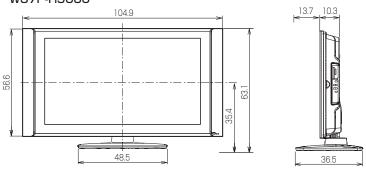
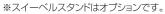
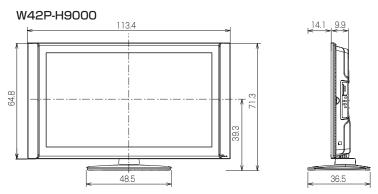
●日本国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料放送契約上禁止されています。
(It is strictry prohibited , as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this tuner in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)
●本製品は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第 3-2 部：限度値－高調波電流発生限度値 (1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

外形寸法について

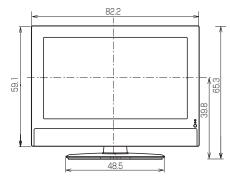
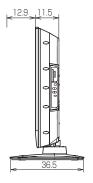
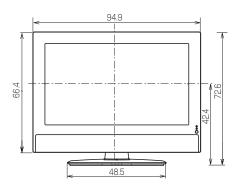
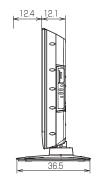
プラズマテレビの仕様

W37P-H9000

※スイーベルスタンドはオプションです。　● 下部最大奥行は　11.3cm

W42P-H9000

※スイーベルスタンドはオプションです。　● 下部最大奥行は　10.9cm

液晶テレビの仕様

W32L-H9000

W37L-H9000

単位 (cm)

ソフトウェアのライセンス情報

日立プラズマテレビ・液晶テレビ (W37P-H9000,W42P-H9000,W32L-H9000,W37L-H9000) で使われる ソフトウェアのライセンス情報

日立プラズマテレビ、液晶テレビに組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアモジュールで構成され、個々のソフトウェアモジュールは、それぞれに日立または第三者の著作権が存在します。

日立プラズマテレビ・液晶テレビには、日立自身が開発または作成したソフトウェアモジュールも含んでいますが、これらのソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント等には、日立の所有権および知的財産権が存在します。これらについては、著作権法その他の法律により保護されています。

また、日立プラズマテレビ、液晶テレビは、米国 Free Software Foundation, Inc. が定めた GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 及 び GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1（以下「ソフトウェア使用許諾契約書」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールに関しては、下記表を参照して下さい。また、対象となるソフトウェアモジュールに関するお問い合わせについては、以下のホームページをご覧ください。

ホームページアドレス　http://av.hitachi.co.jp/tv/support/reference.html

当該ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細につきましては、後に記載する各ソフトウェア使用許諾契約書（別紙）をお読みください（日立以外の第三者による規定であるため、原文（英文）を掲載いたします。）。

当該ソフトウェアモジュールについては、日立以外に、別途著作権者その他の権利を有する者がおり、かつ、無償での使用許諾ですので、現状のままでの提供であり、また、適用法令の範囲内で一切保証（明示するもの、しないものを問いません。）をしないものとします。また、当社は、当該ソフトウェアモジュール及びその使用に関して生じたいかなる損害（データの消失、正確さの喪失、他のプログラムとのインタフェースの不適合化等も含まれます。）についても、適用法令の範囲内で一切責任を負わず、費用負担をいたしません。

対象ソフトウェアモジュール	関連ソフトウェア使用許諾契約書
Linux Kernel busybox dhcpcd ifupdow net-tools iptables libstdc++5	GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2
glibc libposixtime	GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1

日立プラズマテレビ・液晶テレビ (W37P-H9000,W42P-H9000,W32L-H9000,W37L-H9000) で使われる フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文 (英文)

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright © 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be torefrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable underany particular circumstance, the balance of the section is intended toapply and the section as a whole is intended to apply in othercircumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED

TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.
This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.
You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated

日立プラズマテレビ・液晶テレビ (W37P-H9000,W42P-H9000,W32L-H9000,W37L-H9000) で使われる フリーソフトウェアモジュールに関するソフトウェア使用許諾契約書原文 (英文) つづき

straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful. (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If dentifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce

a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in

or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

索　引

英数字

あいうえお

かきくけこ

さしすせそ

たちつてと

なにぬねの

はひふへほ

まみむめも

やゆよ

らりるれろ

わ

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87
（受付時間）365日/9：00～19：00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-11
FAX 0120-3121-34
（受付時間）9：00～17：30/携帯電話、PHSからでもご利用できます。日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

修理などアフターサービスに関するご相談の前に、故障かな？と思ったら（②操作編 100～104） をご覧ください。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆インクを使用しています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

株式会社 日立製作所

QR67812

〒100-0004　東京都千代田区大手町二丁目２番１号　新大手町ビル

Printed in Japan TM-K(S)